KENWOOD

DVD / VCD / CD プレーヤー

DVR-6100

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございました。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

ご使用の前に、「安全上のご注意」（4～7ページ）を必ずおよみください。

B60-5264-08 01 (J) WS 02/05

特長

この説明書では次のようなマークで、DVD、ビデオCD、またはCDで使用できる機能を表しています。

DVD :DVD で使用できる機能を表します。

VCD :VCD（ビデオ CD）で使用できる機能を表します。

CD : CD で使用できる機能を表します。

DVD **S-VHSやレーザーディスクを越える高画質**

DVD **音楽CDよりもサンプリング周波数が高く、高音質で楽しめます**

DVD VCD CD **テレビの画面上で操作が簡単にできるGUI（グラフィカルユーザーインターフェース）**

DVD **DVDならではの多彩な再生機能**

DVD CD **DTSデジタルデコーダー内蔵**

DVD VCD CD **ドルビープロロジック II デコーダー内蔵**

付属品

次の付属品がそろっていることを確認してください。

FM 室内アンテナ .... (1)

AM ループアンテナ .... (1)

ビデオコード（黄色）............. (1)

リモートコントロールユニット .... (1)

リモコン用乾電池................. (2)
(単３形乾電池)

スピーカーコード................. (6)

ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

もくじ

⚠ のついた項目は安全確保のために必ずお読みください。

準備編

操作編

知識編

⚠ このページは、感電や火災からあなたを守るため、ご使用の前に必ずお読みください。

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。

警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。
（説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります）

DVR-6100 (J)

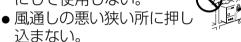
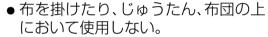
交流100ボルト以外の電圧で使用しない

この機器は、交流100ボルト専用です。指定以外の電源電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

放熱に注意

設置の際は、壁から10cm以上離してください。
機器のカバー等にある穴は、放熱のための通風孔ですので、ふさがないようにご注意ください。

- あおむけや横倒し、逆さまにして使用しない。
- 風通しの悪い狭い所に押し込まない。

- 布を掛けたり、じゅうたん、布団の上において使用しない。

通風孔がふさがると、内部に熱がこもり、火災の原因となります。

風呂、シャワー室では使用しない

風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

電源プラグは清潔に

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

ケースを絶対に開けないでください

機器の裏ぶた、カバーを開けたり、改造をしないでください。
内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。
点検、修理は販売店または当社サービス窓口にご依頼ください。

電源コードの取扱い

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、ステープルや釘などで固定しないでください。また、電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードを敷物などで覆ってしまうと、気づかずに重いものをのせてしまうことがあります。
コードが傷つき、火災・感電の原因となります。

電源コードが傷ついたら（芯線の露出、断線など）修理をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

異常が起きた場合は

煙が出たり、変な臭いや音がする場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。

落下した機器は使わない

機器を落としたり、カバーやケースがこわれた場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

雷が鳴り始めたら

アンテナ線や電源プラグには触れないでください。
感電の原因となります。

乾電池は充電しない

乾電池は充電しないでください。
電池の破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となります。

準備編

⚠ 警告

電池は放置しない

電池は、幼児の手の届かないところへ置いてください。ボタン電池など小型の電池は特にご注意下さい。電池をあやまって飲み込むおそれがあります。
万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

機器の内部に水や異物を入れない

機器の上に花びんやコップなど水の入った容器を置かないでください。
こぼれて中に入ると、火災・感電の原因となります。

機器の通風孔、開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。

内部に水や異物などが入った場合は、まず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

電源コードを熱器具に近付けない

電源コードを熱器具（ストーブ、アイロンなど）に近付けないでください。
コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

不安定な場所には置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

湿気やほこりのある場所に置かない

油煙や湯気の当たる調理台、加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

温度の高い場所には置かない

窓を閉めきった自動車の中や、直射日光があたる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。
本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

電源プラグの抜き差しは

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。

電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

レーザー光源はのぞかない

レーザー光源をのぞき込まないでください。
レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

長期間使用しないときは
旅行などで長期間、ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因となることがあります。

指定以外のコードを使わない
関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。
指定以外のコードを使用したりコードを延長すると発熱し、やけどの原因となることがあります。

指定機器以外の物を乗せない
この機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きな物を置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

アンテナ工事
アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。
アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

音量に気をつけて
はじめに音量（ボリューム）を最小にしてください。
突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。
ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにしてください。
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

移動させる際は
移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。
コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

機器に乗らない
この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。
倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

指をはさまない
お子様がカセットテープ、ディスク挿入口に手を入れないようご注意ください。
指がはさまれて、けがの原因となることがあります。

ひび割れディスクは使わない
ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。
ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

電池の取扱い
電池は誤った使い方をすると、破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を破損する原因となることがあります。
次のことを、必ず守ってください。

- 極性表示（プラス"+"とマイナス"-"の向き）に注意し、表示通りに入れてください。

- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。

お手入れの際は
お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電の原因となることがあります。

3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。販売店、または最寄りのケンウッドサービス窓口に費用を含めご相談ください。
内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

本機のお手入れ

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

接点復活材について

接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させせることがあります。

ディスク取扱上のご注意

取り扱い

再生面にふれないように持ってください。

- 再生面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。

お手入れ

ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。

保存

長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

異常なディスクは使用しない

再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損 故障の原因になります。円形以外の形をしたディスクは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

ディスクアクセサリーについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー（スタビライザー、保護シート、保護リングなど）およびレンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

レンタルディスク、中古ディスクの取り扱いについて

クランピングエリア

図の様にクランピングエリアにシールが貼られているディスクはご使用にならないでください。
シールから糊がはみ出したり金属板が貼られている場合があり、ディスクが取り出せなくなる恐れがあります。
シール類をはがした後、糊がレーベル面に残っていると、故障の原因になります。糊のベタつきがある場合、必ずふき取ってからご使用ください。

結露にご注意

本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴（露）が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。このようなときには、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。
気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋などでは、特に結露にご注意ください。

輸送時または移動時のご注意

本機を輸送するときや、移動するときは、下記の操作を行って、ディスクの入っていないことを確かめてください。

1. OPEN/CLOSE（オープン/クローズ）（▲）キーを押し、ディスクトレイを開け、ディスクを取り出す。
2. PLAY/PAUSE（プレイ/ポーズ）（▶/❚❚）キーを押す。

NO DISC

3. 数秒待って、POWER（パワー）スイッチをオフにする。

メモリーバックアップ機能

電源コードをコンセントから抜いた後、最小1週間保持されるメモリーの内容	**アンプ部** 入力切り替えの設定 音量設定値 サラウンドの設定 ACTIVE EQ **チューナー部** 受信バンド 受信周波数 プリセット放送局 選局モード設定 **DVD部** メニュー設定 **電源オン/スタンバイ状態**

再生できるディスクの方式と種類

本システムでは、CDで音楽を楽しむだけでなく、以下のディスクを再生することにより、映画やライブなどの映像を高画質で楽しむことができます。

再生できるディスク		DVD		CD (CD-DA)		VCD
ディスクに表示されているロゴマーク		DVD VIDEO		COMPACT disc DIGITAL AUDIO		COMPACT disc DIGITAL VIDEO
ディスクの大きさ		8cm	12cm	8cm	12cm	12cm
再生面		片面または両面	片面または両面	片面のみ	片面のみ	片面のみ
内容	映像＋音声	約41分（片面1層） 約75分（片面2層） 約82分（両面1層） 約150分（両面2層）	約133分（片面1層） 約242分（片面2層） 約266分（両面1層） 約484分（両面2層）			最大74分 デジタル
	音声			最大20分 デジタル	最大74分 デジタル	

再生できないディスク

次のディスクは再生できません。

- PAL方式で記録されたDVDディスク
- DVD-ROMディスク
- DVD-R、DVD-RAM、DVD-RWディスク
- CD-ROM（MP3ディスク（ISO 9660 レベル 1）を除く）
- VSDディスク
- SVCDディスク
- CDVディスク（音声部分のみ再生可能）
- CD-G、CD-EG、CD-EXTRAディスク（音声部分のみ再生可能）
- フォトCDディスク（絶対に再生しないでください）
- CD-DAロゴのついていないCDディスクは再生できない場合があります。

DVDディスクに表示されている各種のアイコン（絵表示）について

アイコン	意　味
ALL	再生可能な地域番号（リジョンコード）を示します。
8	オーディオ機能の言語数を示します。アイコン中に表示されている数字が言語数を表します。（最大８ヶ国語）
32	サブタイトル機能の字幕言語数を示します。アイコン中に表示されている数字が言語数を表します。（最大 32ヶ国語）
9	アングル機能のアングル数を示します。アイコン中に表示されている数字がアングル数を表します。（最大９アングル）
16:9 LB	選ぶことのできるアスペクト比を示します。左の例では 16:9の映像からレターボックスに変換できることを表しています。

準備編

リジョンコード

本機の地域番号（リジョンコード）

DVDでは、国ごとに割り当てられた地域番号（リジョンコード）が定められており、DVDディスクに表示されている地域番号（リジョンコード）と一致しないと再生できません。

本機の地域番号(リジョンコード)は"2"です。

本機で再生できるDVDディスクの地域番号について

本機で再生できるDVDディスクは、本機の地域番号（リジョンコード）と一致した番号"2"が表示されているディスク、または本機の地域番号（リジョンコード）の含まれた表示のあるディスク、下の"ALL"表示のあるディスクのみです。また地域番号（リジョンコード）の表示のないディスクでも、制限がある場合があり、本機で再生できないことがあります。

ディスクの違いによる制限について

DVD、VCDは、ソフト制作者の意図により、再生状態が決められていることがあります。本機では、ソフト制作者が意図したディスクの内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずお読みください。
操作中に、本機に接続したテレビの画面に禁止アイコンが表示されることがありますが、上記の制限状態にあることを示します。

禁止アイコン

テレビ画面のビデオフォーマットについて

テレビ画面のビデオフォーマット

テレビの画面表示方式およびディスクの信号方式には大きく分けて二つのタイプ(PAL/NTSC)があり、国や地域によって違います。(右図参照)このため、お使いになるテレビの方式(国や地域)に合わせて、ディスクを選ぶ必要があります。

本機で再生できるディスクはNTSC方式、リジョンコード"2"または"ALL"のディスクです。

主な国のテレビ方式

TVの方式	主な国や地域
NTSC	日本、台湾、韓国、アメリカ、カナダ、メキシコ、フィリピン、チリ...など
PAL	中国、イギリス、ドイツ、オーストラリア、ニュージランド、クエート、シンガポール...など

テレビのビデオフォーマットの設定

通常日本国内で使用する場合はテレビの方式も販売されているディスクもNTSC方式です。
NTSC/PAL切り替え方式のテレビをお持ちの場合はNTSCに切り替えてお使いください。

接続のしかた

下図のように接続してください。
関連システム製品を接続するときは、関連機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

注意

接続が終了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。

設置のご注意

過熱による火災の原因となりますので放熱の妨げになるものを天板の上に置かないでください。

マイコンの誤動作について

正しく接続したのに操作ができなかったり、ディスプレイが誤った表示をする場合は、「故障と思われる症状ですが ...」を参照してマイコンをリセットしてください。 →55

スピーカーの接続

スピーカー端子

❶ ❷

カラーチューブ

白チューブ

黒チューブ

コードを差し込みすぎると音がでなくなることがあります。

フロントスピーカー右

センタースピーカー

フロントスピーカー左

FRONT R

上側マーク

ANTENNA FM 75Ω GND AM

OPTICAL DVD/CD DIGITAL BIT STREAM/P

AUDIO IN SAT/CABLE IN OUT VCR

FRONT R CENTER FRONT L SURR. R SUB WOOFER SURR. L SPEAKERS (6Ω)

サラウンドスピーカー右

サブウーハー

サラウンドスピーカー左

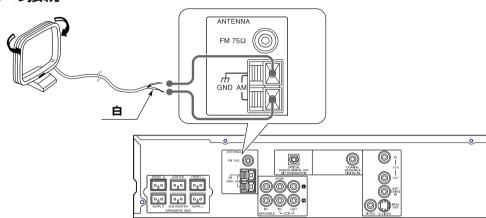
スピーカーコードの端子の色と、本体背面のスピーカー端子板の色を同系色に合わせて接続します。
スピーカー背面の＋側端子の色とスピーカーコードのチューブの色を同系色に合わせて接続します。

スピーカー	本体背面のスピーカー端子板の色
フロント右	レッド（赤）
センター	グリーン（緑）
フロント左	ホワイト（白）
サラウンド右	グレイ（灰）
サブウーハー	パープル（紫）
サラウンド左	ブルー（青）

⚠ご注意：このページは安全のため、よくお読みください。

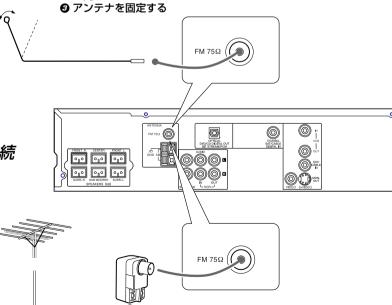
AMループアンテナ

AM ループアンテナの接続

付属のアンテナは室内専用です。本体や、テレビ、スピーカーコード、電源コードなどからできるだけ離してください。受信状態が一番良くなる向きにセットしてください。

FM アンテナ

FM 室内アンテナの接続

付属のアンテナは一時的に使用するための室内アンテナです。放送の安定した受信をするためには屋外アンテナのご使用をおすすめします。屋外アンテナを接続した場合は室内アンテナは取り外してください。

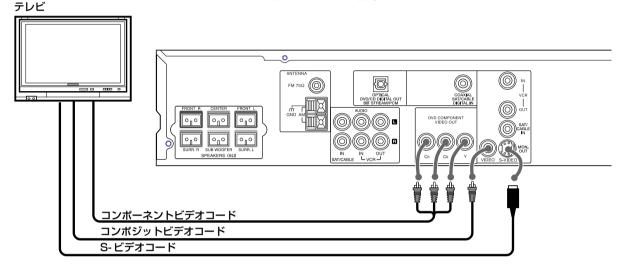
❶ アンテナ端子に接続する
❷ 受信状態のもっとも良くなる位置に向ける
❸ アンテナを固定する

FM 屋外アンテナの接続
（市販）

75 Ω 同軸ケーブルをＦＭ 屋外アンテナに接続して、図のように本機の FM 75 Ω 端子に接続します。

この端子（⏚マークの端子）はアナログプレーヤー等を接続した場合の雑音の低減をはかるためのものです。安全アースではありません。

テレビに接続する

MONITOR OUT 端子から出力される信号は入力によって下のように変わります。異なるタイプの信号は出力されませんのでご注意ください。

S-VIDEO 端子 : 本機で再生した DVD や VCD の映像出力。
VIDEO 端子 : (VIDEO) VCR IN, (VIDEO) SAT IN, または FRONT AUX VIDEO 端子に接続された、VIDEO 信号。

テレビにコンポーネント端子がある場合は、コンポーネント接続をすると、DVD の映像が高画質でごらんになれます。
この場合でもS-ビデオコード、コンポジットコードも合わせて、接続してください。

サテライトチューナーに接続する

オーディオビデオ機器に接続する

ＭＤ レコーダーや、ＣＤ レコーダーでデジタル録音する場合

光ケーブル

接続の前に保護キャップを取り外します。

デジタル出力は PCM 方式です。

コンポジットビデオコード

コンポジットビデオコード

オーディオコード

ANTENNA
FM 75Ω
GND AM
FRONT R　CENTER　FRONT L
SURR. R　SUB WOOFER　SURR. L
SPEAKERS（6Ω）
OPTICAL
DVD/CD DIGITAL OUT
BIT STREAM/PCM
COAXIAL
SAT/CABLE
DIGITAL IN
AUDIO
IN　OUT
VCR
IN
VCR
OUT
SAT/CABLE IN
MON. OUT
VIDEO　S-VIDEO

メモ

本機のデジタル出力はＤＶＤビットストリームデータをPCM方式に変換しません。ドルビーデジタルやDTS対応のDVDを再生すると、ビットストリームデータが出力されます。デジタル録音するときはＰＣＭ 方式のディスクをお使いください。

メモ

DTS 方式で記録されたディスクは、アナログ録音できません。

ビデオカメラや、テレビゲーム機を接続する

準備編

❶ POWER スイッチ →17
❷ STANDBY 表示 →15
❸ LISTEN MODE 表示 →47
❹ ⏮, ⏭ (スキップ) キー →20 →23
❺ FRONT AUX ジャック →14
❻ PHONES ジャック →17
❼ ドアー
❽ TOP MENU/BAND キー →20 →34
❾ INPUT (入力切換) キー →17
❿ カーソル 上 (▲), 下 (▼), 左 (◀), 右 (▶) キー ENTER キー →24 →39 →40
⓫ ▶/❚❚ (PLAY/PAUSE) 再生／一時停止キー →22
⓬ ■ (STOP) 停止キー →22
⓭ MENU キー →40
⓮ ON SCREEN キー →24
⓯ ACTIVE EQ キー →18
⓰ VOLUME コントロールツマミ →17
⓱ ▲ (OPEN/CLOSE) 開閉キー →22
⓲ ディスクトレイ →22

STANDBY(スタンバイ)

電源コードをコンセントに差し込み、本体のPOWER スイッチ を ONにするとSTANDBYインジケーターが点灯します。スタンバイインジケーターが点灯中は、メモリー保護のため微弱な通電を行っています。スタンバイ状態の時リモコンのPOWER キーを押すとSTANDBYインジケーターが消え、本機は動作状態になります。動作状態の時POWER スイッチをOFFにしたときは、次にPOWER スイッチをONにすると動作状態になります。またスタンバイ状態の時POWER スイッチをOFFにしたときは、次にPOWER スイッチをONにするとスタンバイ状態になります。

リモコンのつかいかた

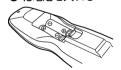
本体と同じ名前のリモコンキーは本体と同じ働きをします。

- ❶ SOURCE ⏻ キー →51 →53
- ❷ DISPLAY キー →19
- ❸ 入力セレクターキー →17
- ❹ TV キー →53
- ❺ 数字キー (0 - 9, +10,+100) →21 →23 →53
  - PGM キー →31
  - CLEAR キー →39
- ❻ MUTE キー →17
- ❼ VOLUME キー →17
- ❽ TOP MENU キー →22
  - P.B.C. キー →34
- ❾ カーソル上 (▲), 下 (▼), 左 (◀), 右 (▶) キー
  - ENTER キー →24 →39 →40
- ❿ RETURN キー →40
- ⓫ ⏮ / ⏭ (スキップ) キー
  - P.CALL キー →20 →23
- ⓬ ● REC (録音) キー →53
  - S.TITLE キー →26
- ⓭ ◀◀ / ▶▶ (サーチ) キー →23
  - / TUNE (同調) キー →20
  - / TV. VOL. キー →53
- ⓮ スピーカー選択キー →50
- ⓯ Listen mode キー →18 →19 →47
- ⓰ Active EQ./SOUND キー →18
  - SETUP キー →48
- ⓱ POWER ⏻ キー →16
- ⓲ INPUT MODE/RANDOM キー →50 →30
- ⓳ SET / AUDIO キー →53
- ⓴ CH. (チャンネル) 上 / 下キー →53
  - / REPEAT A-B キー →29
- ㉑ TV INPUT キー →53
- ㉒ MENU キー →40
- ㉓ ▶ (再生) キー →22
- ㉔ ON SCREEN キー →24
- ㉕ ⏸ (一時停止) キー →22
  - PRESET キー →21
- ㉖ ■ (停止) キー →22
  - AUTO/MONO キー →20
- ㉗ SLOW キー →23
- ㉘ STEP key →23
- ㉙ TRIM / 上 (▲), 下 (▼) キー →18 →19 →48

型名　：RC-R0624J
赤外線方式

電池の入れかた

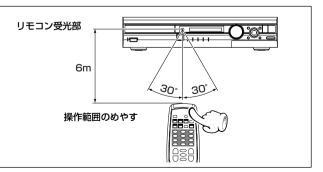
❶ 電池カバーをはずす

❷ 乾電池を入れる

● 単三形乾電池 2 本を極性表示に合わせて入れる。

❸ 電池カバーをする

操作のしかた

本体の電源プラグをコンセントに差し込み、本体のPOWERスイッチをONにし、リモコンのPOWERキーを押すと、電源がオンになります。電源がオンになったら、操作したいキーを押します。

● リモコンの各操作キーを押してから次のキーを押すときは、約1秒以上の間隔をあけて確実に押してください。

1. 付属の乾電池は、動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。ご了承ください。
2. 操作できる距離が短くなったら、2 個とも新しい電池と交換してください。
3. リモコン受光部に直射日光や高周波点灯（インバーター方式等）の蛍光灯の光が当ると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

準備

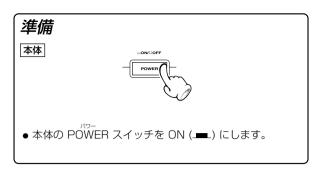
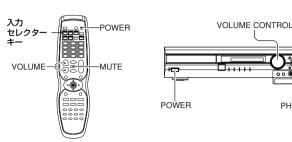
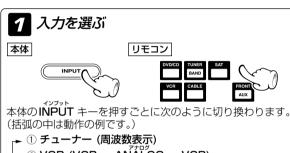
本体

- 本体の POWER スイッチを ON (▬) にします。

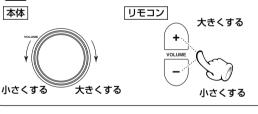
基本的なつかいかた

1 入力を選ぶ

本体　　リモコン

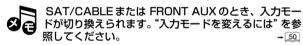
本体のINPUT キーを押すごとに次のように切り換わります。(括弧の中は動作の例です。)

① チューナー (周波数表示)
② VCR (VCR → ANALOG → VCR)
③ SAT/CABLE (SAT/CABLE → AUTO → SAT/CABLE)
④ FRONT AUX (FRONT → OPTICAL → FRONT)
⑤ DVD/CD

2 音量を調節する

本体　　リモコン

- スタンバイモードの時、左のどれかのキーを押すと自動的に電源が入り入力が切り換わります。
- スタンバイモードの時、本体のOPEN/CLOSE キー、PLAY/PAUSE キー、または BAND キーを押しても電源が入りそれぞれの動作をします。
- ディスクがセットされているとき DVD CD キーを押すと、入力が DVD CD に切り換わり、ディスクの再生が始まります。

リモコンで操作する場合、始めに操作したい入力、または機器を入力セレクターキーなどで選んで、次の操作をしてください。リモコンの現在のモードが操作したい機器と一致していない場合があります。

- リモコンで SAT または CABLE を選んだ時；
SAT (SAT → AUTO → SAT)
CABLE (CABLE → AUTO → CABLE)

SAT/CABLE または FRONT AUX のとき、入力モードが切り換えられます。“入力モードを変えるには” を参照してください。 →50

通常、音量ボリュームが最大になると“MAX”と表示されます。スピーカーレベル設定において、TRIM キーで+設定をすると(→48)，“MAX”表示はされません。

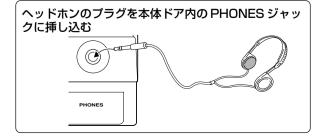
一時的に音を消すとき（ミュート機能）

リモコンのみ

- MUTE キーを押します。

- もう一度押すと元の音量に戻ります。
- 音量調節の操作をしてもミュートが解除されます。

ヘッドホンで聴く

ヘッドホンのプラグを本体ドア内の PHONES ジャックに挿し込む

本機はいろいろなサラウンドモードに対応していますが、ヘッドホンを挿し込むと、自動的にステレオモードに切り換わります。

ドアを開けるときはドアの右サイドを引きます。

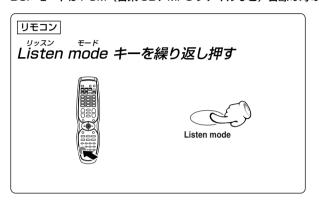
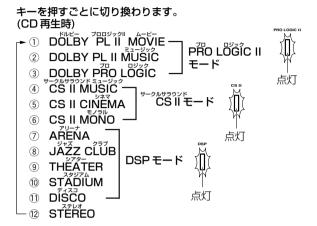
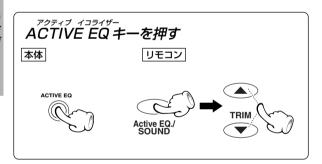
- **ヘッドホンを挿し込むと、スピーカーの音は消えます。**

音質を変えて楽しむ

本機はあらかじめいろいろな音質をプリセットしてありますので、再生するソフトに合わせて、さまざまな音響効果を楽しめます。また、ワンタッチでイコライザーを調整する ACTIVE EQ 機能も備えています。

DSP モードを選ぶ

5 種類の DSP（デジタル・シグナル・プロセッサー）モードがプリセットされています。
DSP モードは PCM（音楽 CD、MP3 ファイルなど）音源の時のみ働きます。

キーを押すごとに切り換わります。
(CD 再生時)

ACTIVE EQ（アクティブイコライザー）機能

キーを押すごとに切り換わります。
❶ CINEMA (ACTIVE EQ. 点灯)
❷ MUSIC (ACTIVE EQ. 点灯)
❸ OFF

点灯

- ある状態においては、ACTIVE EQ キーを一度押しただけでは、ACTIVE EQ モードに入らないことがあります。そのときは、もう一度キーを押してください。

NIGHT （ミッドナイト）モードを選ぶ（Dolby Digital のみ）

深夜などで極端な音の変化を望まないときなどに、この機能をオンにすると、極端な音の変化を押さえて聴くことができます。

“NIGHT OFF ”または“NIGHT ON”が表示されます。

キーを押すごとに切り換わります。
① NIGHT ON
② NIGHT OFF

高音調整（TREBLE）（音楽CD 、VCD およびラジオのみ）

ステレオモードで操作してください。（高音調整はステレオモードの時のみ調整できます。

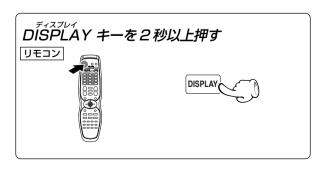
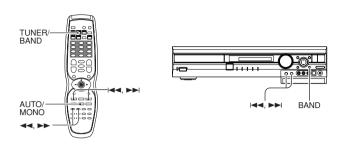
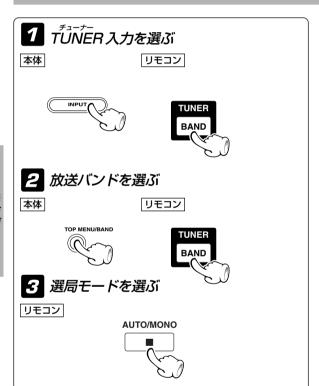
“TRBL” と、レベルの表示がでます。

DOLBY DIGITAL と DTS 音源の時は調整できません。

キーを押すごとにレベルが変わります。
- 高音レベルは +10 から -10 まで調整できます。

Dimmer（ディマー）機能

ディスプレイの明るさを 3 段階に調節できます。DISPLAY キーを押してお好みの明るさに調節してください。

放送を聴く

あらかじめ３０ 局までの放送局をプリセットしてワンタッチで呼び出すこともできます。（→21）

スタンバイ状態の時BANDキーを押すと自動的に動作状態（オン）になります。

押すごとにバンドが切り換わります。

① FM
② AM

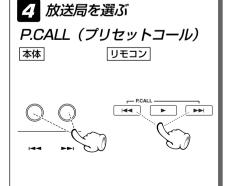
押すごとにモードが切り換わります。

① 自動選局モード　AUTO　点灯
② マニアル選局モード

AUTO（オート） モードのとき TUNE（チューン） キーを押すと放送局を自動的に選局して止まります。ステレオ放送が、十分な強度で受信できるときは自動的にステレオモードになります。

4 放送局を選ぶ

P.CALL（プリセットコール）

本体　リモコン

プリセットされた局を選ぶときは |◀◀, ▶▶| キーを押して選びます。押すごとにプリセットされた局が呼び出されます。

AUTO（自動選局）

リモコン

TUNE キーを押すと次の局を自動的に選局して止まります。

MANUAL（マニアル選局）

リモコン

キーを押すごとに1ステップずつ周波数がかわります。
キーを押し続けると周波数が連続してかわります。
電波が弱く雑音が多い場合はマニアル選局をしてください。（マニアル選局モードではステレオ放送をモノラルで受信します。）

放送局を30局までプリセットして（あらかじめ記憶させて）簡単な操作で呼び出すことができます。

放送局を記憶させる（プリセット）

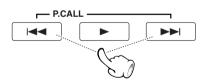
1 放送局を選ぶ（自動選局またはマニアル選局）

→ 20

2 PRESET（プリセット）キーを押す

リモコン

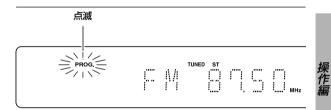
3 保存するプリセット番号を選ぶ

リモコン

4 PRESET（プリセット）キーを押す

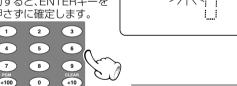
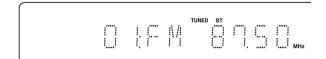
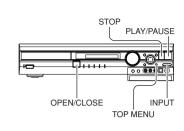
リモコン

続けて他の局をプリセットする場合は 1 から 4 を繰り返す。

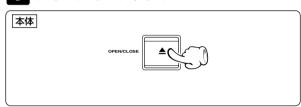
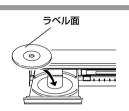
FMとAMを混在させてプリセットすることができます。
（例）
01: FM　81.50
02: AM　630
03: FM　88.00

点滅

表示が点滅している間に次の操作をしてください。

数字キーで番号を入力する場合は、2桁の数字を入力すると、ENTERキーを押さずに確定します。

操作編

基本的なつかいかた

1 ディスクをセットする

本体

❶ トレイを開ける
❷ ディスクを置く
❸ トレイを閉める

- ステップ❸で OPEN/CLOSE キーを押す代わりに本体の PLAY/PAUSE キーを押すとトレイが閉まり、再生が始まります。

テレビ画面にディスクメニュー画面が表示されたとき

対話型のＤＶＤ ソフトなどを再生するとディスクメニュー画面が表示されます。この場合はカーソルキーで内容を選んで、ENTER キーを押します。

ディスクにメニュー画面が記録されている場合、TOP MENU キーを押すとメニュー画面が表示されます。メニュー画面では、カーソルキーでメニューを選ぶことができます。

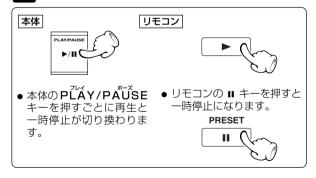
2 DVD CD を選ぶ

本体　　リモコン

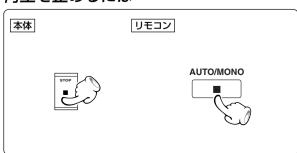
- ディスクがセットされていて DVD CD が選ばれると自動的に再生が始まります。

3 再生を開始する

本体　　リモコン

- 本体の PLAY/PAUSE キーを押すごとに再生と一時停止が切り換わります。
- リモコンの II キーを押すと一時停止になります。

- ディスク以外の入力が選ばれているとき、本体の PLAY/PAUSEキーを押すとDVD/CDが選択されて、再生が始まります。

再生を止めるには

本体　　リモコン

リジューム機能について

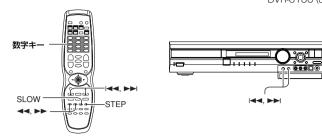
再生中に停止キー（■）を一回押すと、再生を停止します。このとき停止した位置を記憶しています。次に再生を始めたときは、停止した場所から再生を始めます。この機能をリジューム機能と言います。
停止中にもう一度停止キー（■）を押すとリジュームは解除されます。

リジューム状態で、約 5 分以上経過すると、リジュームは解除されます。

操作編

DVR-6100 (J)

ディスクの色々な再生機能

- DVD再生で、スキップ、サーチ、スローモーション動作中は、音声は聞こえません。
- 映画などの始まりの画面などではスキップなどの機能は働きません。

DVD CD VCD チャプターやトラック(曲)などを飛び越す

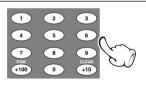
- キーを押すごとにチャプターまたはトラック(曲)を飛び越して、選んだチャプターまたはトラック(曲)のはじめから再生を開始します。
- 再生中に |◀◀ キーを1回押すと、そのチャプターまたはトラック(曲)のはじめから再生を開始します。

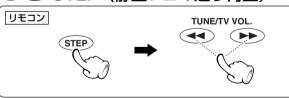
DVD CD VCD サーチ(早送り、早戻し)

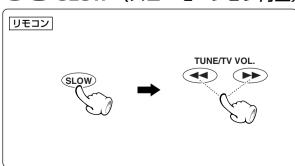
リモコン

- 再生中に ◀◀ キーまたは ▶▶ キーを押します。
- 押すごとにサーチスピードが次のように変わります。
  - ① 2倍速 (F.SEARCH 1)/(R.SEARCH 1)
  - ② 4倍速 (F.SEARCH 2)/(R.SEARCH 2)
  - ③ 8倍速 (F.SEARCH 3)/(R.SEARCH 3)
  - ④16倍速 (F.SEARCH 4)/(R.SEARCH 4)
- 通常の再生に戻るときはPLAYキーを押します。
- サーチ中、音はでません。

好きなトラック(曲)から再生する

リモコン

- 再生したい曲番を選びます。
- 次の例のように番号キーを押します。
  (例)
  曲番23を選ぶとき:[2] [3]
- CDに収録されている曲番より大きい数値が入力されたときは“Tr ?”と表示されます。

DVD VCD STEP(ステップ)(静止/コマ送り再生)

- ◀◀キー、▶▶ キーを押すごとに1コマずつ再生します。
- VCD再生の時は、後退のコマ送り再生はできません。
- 通常の再生に戻るときはPLAYキーを押します。

DVD VCD SLOW(スロー)(スローモーション再生)

- 再生中にSLOWキーを押し、◀◀, ▶▶ キーを押します。
- ◀◀, ▶▶ キーを押すごとにスローモーションのスピードが切り換わります。

(DVD再生時)

- ① 1/16倍速 F.SLOW 1/16 (R.SLOW 1/16)
- ② 1/8 倍速 F.SLOW 1/8 (R.SLOW 1/8)
- ③ 1/4 倍速 F.SLOW 1/4 (R.SLOW 1/4)
- ④ 1/2 倍速 F.SLOW 1/2 (R.SLOW 1/2)

(VCD再生時)

- ① 1/8 倍速 F.SLOW 1/8 (R.SLOW はできません)
- ② 1/4 倍速 F.SLOW 1/4 (R.SLOW はできません)
- ③ 1/2 倍速 F.SLOW 1/2 (R.SLOW はできません)

- 通常の再生に戻るときはPLAYキーを押します。

テレビ画面を使って操作するには

テレビ画面に表示されるアイコンで、さまざまな再生機能を操作することができます。（オンスクリーンバナー表示）
アイコンを表示させるには、ディスクの再生中に、ON SCREEN キーを押します。アイコンを表示させたあと、カーソルキー（▲、▼、◄、►）で希望のアイコンを選び、ENTER キーで確定します。

❶再生中に ON SCREEN キーを押す。

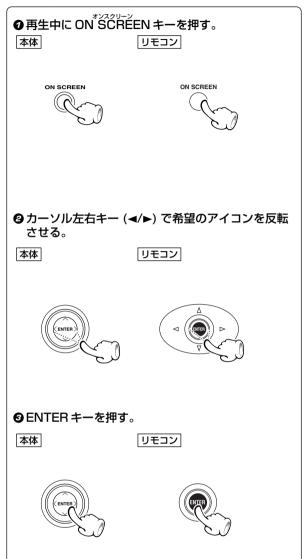
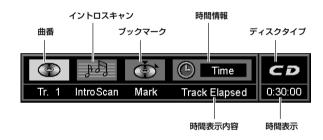
❷カーソル左右キー（◄/►）で希望のアイコンを反転させる。

❸ENTER キーを押す。

DVD 再生中

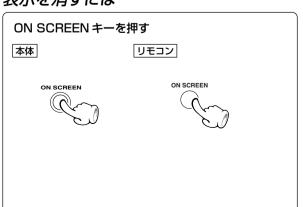
CD/VCD 再生中

表示を消すには

ON SCREEN キーを押す

CD/VCD の時間表示を切り換えるには

❶カーソルキーで時間情報を選択する。
❷ENTER キーを押すたびに時間表示が下のように切り換わります。

① Track Elapsed（再生中の曲番の経過時間）
② Track Remain（再生中の曲番の残り時間）
③ Disc Elapsed（再生中のディスクの経過時間）
④ Disc Remain（再生中のディスクの残り時間）

メモ

- オンスクリーン機能はディスク再生中のみ働きます。
- ディスクにそれぞれの機能が使えるように設定されていないと使用することができません。（例えば、ディスクにサブタイトルが使えるように設定されていなければ、サブタイトル機能は使えません。）
- キーを押したときに⃠マークが出たときは操作をすることができません。また、アイコンがグレーになっているときはその機能が使えません。

操作編

DVD タイトルを選ぶ

DVDのディスクによっては、複数のタイトルを含むものがあります（例えば、1つのディスクに4本の映画を収録している場合に、それぞれタイトルを設定してある場合など）。その場合に、タイトルを指定して選択することができます。

❶ 再生中に ON SCREEN（オンスクリーン）キーを押す。

本体

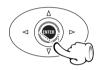
リモコン

❷ カーソル左右キー（◄/►）を押して、タイトルアイコンを反転させる。

本体

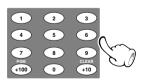
リモコン

❸ ENTER（エンター）キーを押す。
（“T__” 表示）

本体

リモコン

❹ リモコンの数字キーまたは本体のカーソルキーを使って、タイトル番号を入力する。

本体

リモコン

リモコンの数字キーで1桁だけ入力したときは、ENTERキーを押してください。または、はじめに “0” を押して、数字を押すとそのタイトルからスタートします。桁数は再生中のディスクに含まれるタイトル数に依存します。

メモ

多くのディスクでは、1枚のディスクは1つのTITLE（タイトル）で構成されています。

DVD CD VCD チャプター、トラックを選ぶ

通常、DVDディスクではCDのトラックのように1つのタイトルの中を複数のチャプターに分けてあります。オンスクリーンバナー表示を使って、DVDのチャプターや、CD、VCDのトラック（曲番）を選ぶことができます。

❶ 再生中に ON SCREEN キーを押す。

本体

リモコン

❷ カーソル左右キー（◄/►）を押して、チャプターまたはトラックアイコンを反転させる。

本体

リモコン

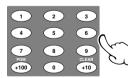
❸ ENTER キーを押す。
（“C__” または “Tr__” 表示）

本体

リモコン

❹ リモコンの数字キーまたは本体のカーソルキーを使って、チャプターまたはトラック番号を入力する。

本体

リモコン

リモコンの数字キーで1桁だけ入力したときは、ENTERキーを押してください。または、はじめに “0” を押して、数字を押すとそのチャプターまたはトラック番号からスタートします。桁数は再生中のディスクに含まれるチャプターまたはトラック数に依存します。

メモ

- 再生中ののディスクがチャプターに分けられていない場合は動作しません。
- VCD（ビデオCD）でこの機能を使うときはP.B.C.メニュー機能をオフにしてください。 → 34

DVD 音声の言語を切り換える

ディスクの音声が複数の言語で作られている場合は、そのディスクの音声言語を切り換えて聞くことができます。

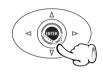
❶再生中に ON SCREEN（オンスクリーン）キーを押す。

本体　　リモコン

❷カーソル左右キー（◄/►）を押して、音声アイコンを反転させる。

本体　　リモコン

❸ENTER（エンター）キーを押す。

本体　　リモコン

音声メニュー表示

1: English
6ch. Dolby Digital

❹ENTER キーを押して、音声言語を選択する。

本体　　リモコン

- 約５秒間操作をしないと音声メニュー表示は消えます。

- ディスクが多言語の音声に対応している場合のみ働きます。
- 再生中は「セットアップ機能」で設定した言語に対して、オンスクリーンの操作で選んだ言語が優先します。

DVD サブタイトル（字幕）言語を切り換える

ディスクのサブタイトルが複数の言語で作られている場合は、そのディスクのサブタイトル言語を切り換えることができます。

❶再生中に ON SCREEN キーを押す。

本体　　リモコン

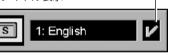
❷カーソル左右キー（◄/►）を押して、サブタイトルアイコンを反転させる。

本体　　リモコン

❸ENTER（エンター）キーを押す。

本体　　リモコン

サブタイトル表示

サブタイトルがオンのとき表示

❹ENTER キーを押して、サブタイトル言語を選択する。

本体　　リモコン

❺S.TITLE（サブタイトル）キーを押して、サブタイトルのオンまたはオフを選ぶ。

リモコンのみ

- 約５秒間操作をしないとサブタイトル表示は消えます。

メモ

- ディスクが多言語のサブタイトル に対応している場合のみ働きます。
- サブタイトルメニューはディスクによって表示されない場合もあります。

操作編

DVR-6100 (J)

DVD カメラアングルを切り換える

DVDのディスクによっては、特定のシーンで複数のカメラアングルで撮影されている場合があります。その場合はアングルを切り換えて楽しむことができます。1つのアングルしか持たないディスクでは機能しません。

❶再生中に ON SCREEN（オンスクリーン）キーを押す。

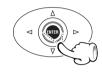
本体

リモコン

❷カーソル左右キー（◄/►）を押して、アングルアイコンを反転させる。

本体 リモコン

❸ENTER（エンター）キーを押す。

 リモコン

アングルメニュー表示

❹ENTER キーを繰り返し押してアングルを選ぶ。

本体 リモコン

- 約５　秒間操作をしないとアングルメニュー表示は消えます。

CD VCD イントロスキャン機能を使う

イントロスキャン機能はCDやVCDの各トラックの最初の部分を次々に再生していく機能で、曲を選ぶときなどに便利です。

❶再生中に ON SCREEN キーを押す。

本体

リモコン

❷カーソル左右キー（◄/►）を押して、イントロスキャンアイコンを反転させる。

本体 リモコン

❸ENTER（エンター）キーを押す。

本体 リモコン

- それぞれのトラックのはじめの 10 秒間を再生します。
- すべてのトラックをイントロスキャンし終わると停止します。
- イントロスキャンを途中で中止する場合は、リモコンの ENTER キーを押します。（そのときのトラックから通常再生をします。）

（テレビ画面表示が消えているときは ON　SCREEN キーを押し、イントロスキャンを選んでから ENTER キーを押します）

VCD（ビデオ CD）でこの機能を使うときは P.B.C. メニュー機能をオフにしてください。 →34

DVD CD VCD ブックマーク機能を使う

ブックマーク（しおり）をつけておくと、すぐにその場所に飛び越すことができます。ブックマークは 9ヶ所まで付けられます。

ブックマークを付ける

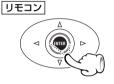
❶ 再生中に ON SCREEN（オンスクリーン）キーを押す。

本体　　リモコン

❷ カーソル左右キー（◄/►）を押して、ブックマークアイコンを反転させる。

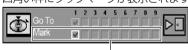
本体　　リモコン

❸ ENTER（エンター）キーを押す。

本体　　リモコン

ブックマーク表示　　元の表示に戻る

❹ カーソルをMARKの列まで移動し、マークを付けたいシーンで ENTER キーを押す。

本体　　リモコン

四角い枠にブックマークが表示されます。

Mark 列

- カーソルが、MARK の列にある時は数字キー（1～9）でもブックマークをつけることができます。
- メニュー画面を消すときは ON SCREEN（オンスクリーン）キーを押します。

ブックマークを取り消す

ディスクを取り出すか、または電源をオフにするとブックマークが取り消されます。

- 9ヶ所以上ブックマークを付けたときは、前に付けたマークが消されます。
- ディスクによってはブックマーク機能が働かないディスクもあります。
- VCD（ビデオCD）でこの機能を使うときはP.B.C.メニュー機能をオフにしてください。 → 34

マークをした場面に飛び越す

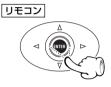
❶ 再生中に ON SCREEN（オンスクリーン）キーを押す。

本体　　リモコン

❷ カーソル左右キー（◄/►）を押して、ブックマークアイコンを反転させる。

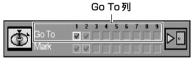
本体　　リモコン

❸ ENTER（エンター）キーを押す。

本体　　リモコン

四角い枠にブックマークが表示されます。

❹ カーソル（上）（▲）キーを押して、ブックマークメニューの上の部分（Go To の列）に移動し、カーソル左右（◄/►）キーを押して、望みのブックマーク上に移動する。

本体　　リモコン

Go To 列

- 数字キー（1～9）を押して、ブックマーク番号を移動することができます。

❺ ENTER キーを押して、ブックマークをしたシーンに飛び越す。

本体　　リモコン

- メニュー画面を消すときは ON SCREEN キーを押します。

操作編

DVD CD VCD リピート機能

選んだタイトルまたはディスクの中で、繰り返し再生することができます。

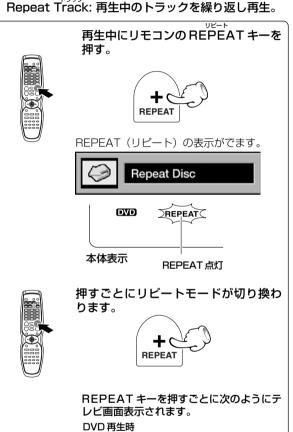
- Repeat Disc: ディスク全体を繰り返し再生。
- Repeat Title: 再生中のタイトルを繰り返し再生。
- Repeat Chapter: 再生中のチャプターを繰り返し再生。
- Repeat Track: 再生中のトラックを繰り返し再生。

再生中にリモコンのREPEAT キーを押す。

REPEAT（リピート）の表示がでます。

押すごとにリピートモードが切り換わります。

REPEAT キーを押すごとに次のようにテレビ画面表示されます。

DVD 再生時

① Repeat Disc
② Repeat Title
③ Repeat Chapter
④ Repeat Off （解除）

CD/VCD 再生時

① Repeat Disc
② Repeat Track
③ Repeat Off （解除）

- リピート再生を解除するときは REPEAT キーを押し、"Repeat Off" を選びます。
- 約５ 秒間操作をしないとテレビ画面のリピート表示は消えます。

メモ

VCD（ビデオ CD）でこの機能を使うときはP.B.C. メニュー機能をオフにしてください。 →34

DVD CD VCD A-Bリピート再生

A-B リピート機能は好みの区間を自分で設定し、（A-B 間）リピート開始部分のＡ部から終了部のＢ部までを繰り返し再生します。

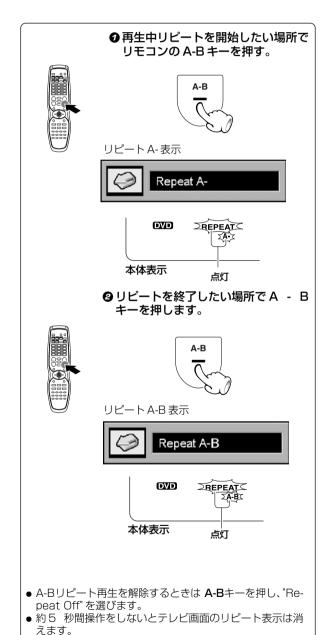
❶ 再生中リピートを開始したい場所でリモコンの A-B キーを押す。

リピート A- 表示

❷ リピートを終了したい場所で Ａ - Ｂ キーを押します。

リピート A-B 表示

- A-Bリピート再生を解除するときは **A-B**キーを押し、"Repeat Off" を選びます。
- 約５ 秒間操作をしないとテレビ画面のリピート表示は消えます。

メモ

VCD（ビデオ CD）でこの機能を使うときはP.B.C. メニュー機能をオフにしてください。 →34

CD VCD ランダム再生

再生中のディスクのトラックを順不同に再生します。

- 約５ 秒間操作をしないとテレビ画面のランダムプレイ表示は消えます。

- DVD ディスクではランダムプレイはできません。
- VCD（ビデオCD）でこの機能を使うときはP.B.C.メニュー機能をオフにしてください。 →34

- 再生中に RANDOM キーを押すとディスクの曲を順不同に選んで全曲再生します。
- ディスクの全曲を再生し終わると、停止状態になり、ランダムモードは解除されます。

DVD CD VCD プログラム再生

DVR-6100 (J)

再生中のディスクのチャプターまたはトラックを好きな順にプログラムして再生することができます。

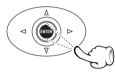
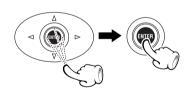
プログラムの記録と再生

ディスクをトレイにセットした後、PLAY（プレイ）キーを押すと"READING（リーディング）"表示が点灯し、本機がディスクの情報を読みとります。（ディスク情報を読みとった後再度トレイを開閉したときは、もう一度上記の操作をしてください。）

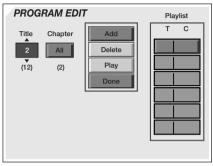
プログラムをする

❶ 停止中にリモコンのPGM（プログラムモード）キーを押す。

❷ リモコンのカーソル上下（▲/▼）キーを押すか、または数字キーでチャプターまたはトラックを選ぶ。

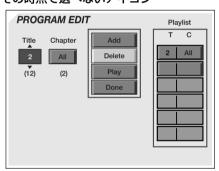
❸ ENTER（エンター）キーを押す。

❹ "Add（アド）"アイコンを選んで、ENTERキーを押し、プレイリストに登録する。

❺ ステップ❷ - ❹を繰り返し、32チャプター（トラック）までプログラムできます。

❻ 再生を開始するにはPLAY（プレイ）（►）キーを押します。

プログラム編集画面表示

（DVD プログラム画面の例）

2 ：選択されたアイコン

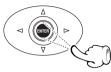
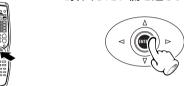
：選べるアイコン

：その時点で選べないアイコン

- プログラム終了時は、"Done（ダン）"アイコンを選択して、ENTERキーを押します。
- 通常再生中に、PGMキーを押すとプログラム再生をします。
- プログラム再生中に、PGMキーを押すと通常再生に戻ります。
- ＭＰ３ ディスクのプログラムはこの操作ではできません。"MP3 プログラム再生"（➔ 39）を参照してください。

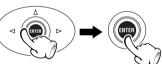
Add/Insert（アド/インサート）アイコン --- 数値を"Playlist（プレイリスト）"に加えます。
Delete（デリート）アイコン --- 数値を"Playlist（プレイリスト）"から削除します。
Play（プレイ）アイコン --- プログラム再生をします。
Done（ダン）アイコン ---停止モード、またリジュームモードに戻ります。

プログラムにチャプター（トラック）を挿入する

停止中にPGM（プログラムモード）キーを押してプログラムモードにします。

❶ カーソル上下(▲/▼)キー、または数字キー（0～9）で、挿入したいチャプター（トラック）を選ぶ。

❷ カーソル（右）(▶) キーで "Playlist"（プレイリスト）に移動し、カーソル上下(▲/▼)キーで挿入したい欄を選ぶ。

（カーソルの合った欄の色が変わります）

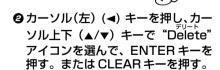
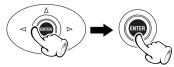
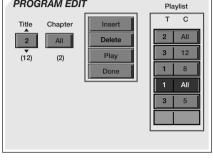
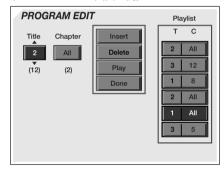
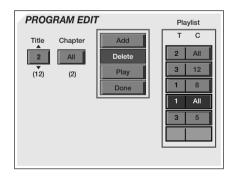
（DVD プログラム画面の例）

❹ カーソル（左）(◀) キーを押し、カーソル上下(▲/▼)キーで "Insert"（インサート）アイコンを選んで、ENTERキーを押す。

新しいチャプター（トラック）が、選ばれた欄の上（前）に追加されます。

プログラムを消去する

停止中にリモコンのPGMキーを押します。

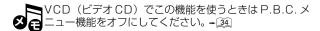
❶ カーソル上下（▲/▼）キーを押して、"Playlist"（プレイリスト）の削除する欄を選ぶ（カーソルの合った位置の色が変わります）。

❷ カーソル（左）(◀) キーを押し、カーソル上下（▲/▼）キーで "Delete"（デリート）アイコンを選んで、ENTER キーを押す。または CLEAR キーを押す。

選ばれたチャプター（トラック）が削除されます。

プログラムをすべて取り消すには。

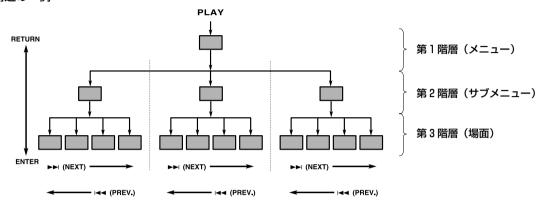
次の場合はプログラムがすべて取り消されます。

1. トレイを開閉したとき。
2. 電源をオン、オフしたとき。

メモ VCD（ビデオCD）でこの機能を使うときはP.B.C. メニュー機能をオフにしてください。→34

操作編

VCD VCDメニューの階層構造について

メニュー画面の含まれている、P.B.C. 付き VCD（ビデオ CD）を再生したとき、メニュー画面で項目を選ぶと、さらに詳細な項目のメニューが表示されることがあります。このように、いくつものメニューが段階的につながり、重なり合っている状態を階層構造といいます。繰り返しメニュー画面で選んでいくことで、目的の場面に到達できます。

階層構造の一例

進むとき

カーソルキー（▲/▼/◄/►）、または数字キーを使ってメニュー画面で項目を選ぶと、一つ下の階層メニューへ進みます。進んだ先が、再生される「場面」のときは、その内容が再生されます。

- 各階層で選択可能なメニュー（場面）が複数ある場合は、►►I（NEXT（ネクスト））、I◄◄（PREV（プレビアス））キーで画面の切り換えができます。

戻るとき

RETURN（リターン）キーを押すたびに、一つ上の階層のメニューへ戻っていきます。

VCD 再生時に使われる主な操作キーと表示例

ソフトジャケットの表示	►	↶●	I◄◄	►►I	ENTER または SELECT
KENWOOD の操作キー	▷	RETURN	I◄◄	►►I	ENTER

- ジャケットの表示は、ソフトによって上記と異なるものもあります。

VCD P.B.C.機能付きVCDで、メニュー再生機能を使わない再生（P.B.C.メニュー機能オン/オフ）をするには

リモコンの TOP MENU キーを押す

- トラック番号は、ディスクのジャケットなどを参照してください。
- P.B.C. オフモード：メニュー再生機能を使わない再生。

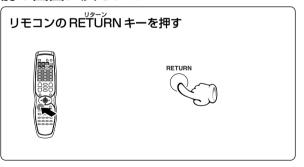
P.B.C. オフモード

メニュー再生(P.B.C.メニュー機能オン)に戻すには

TOP MENU キーをもう一度押します。

P.B.C. オンモード

前の画面に戻るには

リモコンの RETURN キーを押す

- VCD は前の画面に戻ります。

MP3の手引き

本機で再生できるメディアについて

使用できるメディア　　　：CD-ROM、CD-R、CD-RW
使用できるフォーマット：ISO9660 level 1
再生できるファイル　　　：MP3ファイル

本機で再生するメディアの作成について

MP3 ファイルに圧縮するとき

MP3 ファイルに圧縮するときは、圧縮ソフトの転送ビットレートを次のように設定してください。
MP3 ファイル　　：推奨 128kbps　(32kbps ～ 320kbps)

- **本機は、32kHz、44.1kHz（推奨）、48kHz のサンプリング周波数に対応しています。**

ファイル名や、フォルダー名を付けるとき

ファイル名は、半角英字の A ～ Z、半角数字の０～９、半角の _（アンダースコア）を使って付けます。
ファイル名には、必ず".MP3"の拡張子を付けます。

- **MP3 以外のファイルに MP3 の拡張子を付けないでください。本機で再生できるファイルと誤認識され、大きな雑音が出てヘッドホンが破損したり耳に悪い影響を与える恐れがあります。**

メディアとファイルの確認

MP3 ファイルをメディアに書き込む前に、書き込みをするパソコンでそれぞれのファイルが正しく再生されることを確認してください。書き込まれたファイルは正しく再生されることを確認してください。

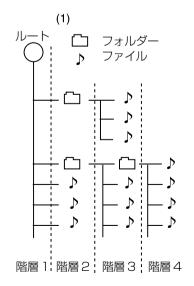
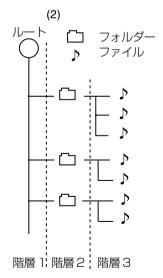
- **メディアに書き込んでいる途中に、ファイルが正しく再生されることを確認することはできません。**

メディアに書き込むとき

書き込んだメディアは必ずセッションクローズまたはファイナライズをしてください。セッションクローズまたはファイナライズされていないメディアを本機で再生すると、正しく再生できない場合があります。

- **書き込みソフトによっては、書き込まれたフォルダ名やファイル名が正しく表示されない場合があります。**
- **本機で再生する MP3 以外のファイルやフォルダなどを書き込まないようにしてください。**
- **MP3 ファイルをメディアに書き込むときは、10 セッション以内で書き込むことをおすすめします。**
- **マルチセッションディスクの再生が始まるまで、時間がかかることがあります。**
- **MP3 のファイル（CD-ROM）と音楽 CD 情報（CD-DA）を 1 枚のメディアに書き込むと再生できない場合があります。**

階層構造の例

操作編

MP3ファイルの再生

- ディスクの限度を超えた数のファイルやフォルダーの再生はできません。(223 まで)
- ディスクの情報を読み取って、再生が始まるまで多少時間がかかることがあります。
- ファイルは、書き込まれた順に再生されます。

再生

▶/❚❚キーを押すたびに、再生と一時停止が切り換わります。
(MP3 のディスクをセットしたときは自動的に再生が始まります。)

(MP3 ディスクを再生すると MP3 テレビ画面表示がでます)

LIKE-1	MP3
Standard Play	1	0:05:34

LIKE-1
LUCKY-1
LET IT-1
YESTERDA
TRUE-1
OPEN-1
WHIHE-1
WHIHE-2
NEVER-2

ALL CLEAR

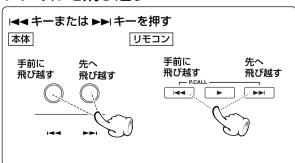
再生を止めるには

■ (STOP)キーを押す

ファイルを飛び越す

❙◀◀ キーまたは ▶▶❙ キーを押す

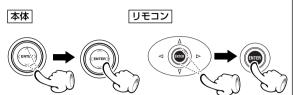
MP3 テレビ画面表示

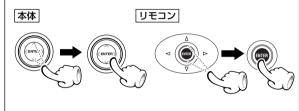
メモ

フォルダー名とファイル名は半角で 8 文字まで表示されます。8 文字以上記録されている場合は短縮されて表示されます。

操作編

MP3ファイルを選択する

❶ カーソル上下(▲/▼) を押して、フォルダーを選択し、ENTER キーを押す。

本体　　リモコン

❷ カーソル上下(▲/▼) を押して、ファイルを選択し、ENTER キーを押す。

本体　　リモコン

● 選択されたファイルから再生が始まります。

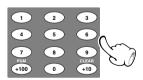
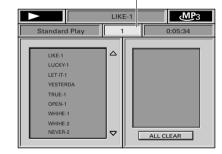
選択されたフォルダー内のファイルとフォルダーが表示されます。

前の階層に戻るときは、リターンフォルダーアイコンを選択して、ENTER キーを押します。

再生するファイルを直接選択する

❶ カーソル右(▶) を押して、フォルダーを選択する。

本体　　リモコン

❷ リモコンの数字キーで再生したいファイルナンバーを入力する。

● ファイルナンバー入力後に“＿ ＿ ＿”が表示された場合は、“＿ ＿ ＿”が消える前にENTER キーを押してください。
● 選択されたフォルダーから再生が始まります。

MP3 リピート機能

選んだタイトルまたはディスクの中で、繰り返し再生することができます。

- Repeat 1 Disc:ディスク全体を繰り返し再生。
- Repeat 1 Folder: 再生中のフォルダーを繰り返し再生。
- Repeat Track: 再生中のファイルを繰り返し再生。

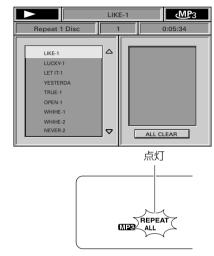
再生中にリモコンの REPEAT キーを押す。

リモコン

- リピート再生を解除するときは REPEAT キーを押し、"Standard Play" を選びます。

リピート再生をするフォルダーの中にサブフォルダーがあるときは、その中のファイルは再生されません。

押すごとにリピートモードが切り換わります。

① Repeat 1 Disc: REPEAT ALL 表示点灯
② Repeat 1 Folder: REPEAT ALL 表示点灯
③ Repeat Track: REPEAT 1 表示点灯
④ Standard Play

本体表示

MP3 ランダム再生

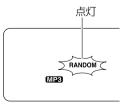
再生中のディスクのファイルを順不同に再生します。

再生中または停止中にリモコンのRANDOM キーを押す。

リモコン

- 再生中にRANDOMキーを押すとディスクの曲を順不同に選んで全曲再生します。
- ディスクの全曲を再生し終わると、停止状態になり、ランダムモードは解除されます。

リモコンのRANDOMキーを押すごとにランダムプレイのオン、オフが切り換わります。

① Random Play：ランダムプレイ
② Standard Play：通常再生

本体表示

ランダム再生を繰り返す

ランダム再生中に、リモコンの REPEAT キーを押す。

リモコン

押すごとにリピートモードが切り換わります。

① REPEAT ALL 表示点灯
② リピート解除

フォルダーを指定してランダム再生をすることはできません。

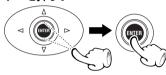
操作編

MP3 プログラム再生

MP3 ファイルを好きな順にプログラムして再生することができます。

プログラムする

❶ 停止中に、リモコンのPGM(プログラムモード)キーを押す。

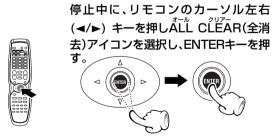
❷ リモコンのカーソル上下(▲/▼) を押して、ファイルを選択し、ENTER(エンター)キーを押す。

- 選択されたファイルが、プログラムウインドーに入ります。
- ステップ❷　を繰り返すことによって、100 ファイルまでプログラムすることができます。しかしプログラムできるファイルの数はMP3 ディスクに含まれるファイルやフォルダー数やまたそれらのファイルやフォルダーの名前に使われている文字数によって違います。

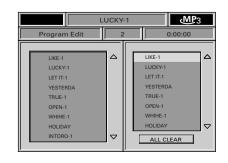
❸ プログラム再生を開始するときはPLAY(プレイ)キーを押します。

- 通常再生に戻るときは PGMキーをもう一度押します。
- プログラム編集中や再生中にファイルナンバーが入力された場合には、プログラムモードは解除されます。

リターンフォルダーアイコンでENTERキーを押すと一つ上の階層へうつります。

プログラムを削除する

停止中に、リモコンのカーソル左右(◄/►) キーを押しALL CLEAR(オール クリアー)(全消去)アイコンを選択し、ENTERキーを押す。

- プログラムは消去されます。

- プログラムウインドーから、消去したいファイルを選んで、リモコンの CLEARキーを押すことにより、ファイルを 1 つずつ消去することもできます。

セットアップメニュー

工場出荷状態の初期設定から設定を変更することができます。

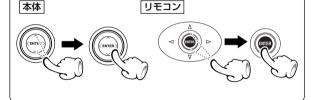
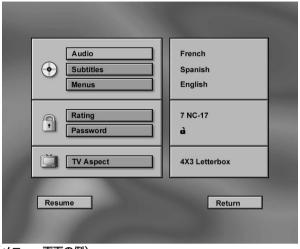
❶ 停止中またはリジューム停止に MENU（メニュー）キーを押します。

本体　　リモコン

MENU　　MENU

テレビ画面に現在の設定が表示されます。

❷ カーソル上下（▲/▼）キーを押して、項目を選び、ENTER キーを押して、詳細設定画面に移ります。

本体　　リモコン

（メニュー画面の例）

Audio（オーディオ） / Subtitle（サブタイトル）（ディスク言語）：ディスクを再生するときの音声や、サブタイトル（字幕）の言語を設定します。（ディスクに選んだ言語が含まれていない場合は、ディスクの基本言語で再生されます。

Menus（メニューズ）：テレビ画面表示（オンスクリーンバナー表示など）の言語を設定します。

Rating（レイティング）：未成年に見せたくない DVD ソフトなどの再生を制限する機能で、レベルを設定します。DVD ソフト自身に、制限するレベルの設定がされていない場合は再生の制限はできません。

Password（パスワード）：レイティングのレベルの設定や、解除などのためのパスワードの設定をします。

TV Aspect（アスペクト）：使用するテレビに合わせてスクリーンサイズを設定します。(4:3 または 16:9 の縦横比）。

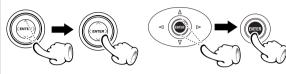
- 4 x 3 letterbox（レターボックス）：映画の縦横比のままの画面で見る場合に設定します。この場合画面の上下に黒い部分が残ります。
- 4 x 3 Pan Scan（パンスキャン）：テレビ画面いっぱいに映画を見たい場合に設定します。映画の左右が切れて映ります。この形式に適合しないディスクもあります。その場合は上下に黒い部分が残ります。
- 16 x 9 Widescreen（ワイドスクリーン）：ワイドテレビに接続した場合に選択します。

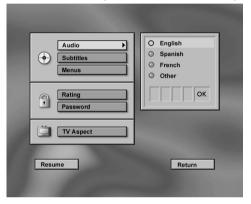
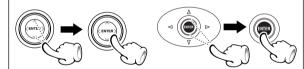
RETURN（リターン）キーの使いかた

メニュー画面などで、RETURNキーを押すと手前の画面（通常停止モード）に戻ります。

RETURN

DVD 音声言語を選ぶ

❶ セットアップメニュー画面で、カーソル上下（▲/▼）キーを押して、Audio（オーディオ）を選び、ENTER（エンター）キーを押す。

本体　リモコン

（オーディオメニュー表示）

❷ カーソル上下（▲/▼）キーを押して音声言語を選び、ENTER キーを押す。

本体　リモコン

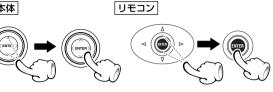
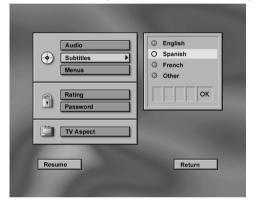
その他の言語を選ぶとき

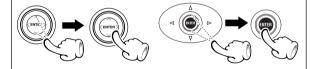
① “Other” を選び、ENTER キーを押す。

② カーソル上下（▲/▼）キーまたは数字キーを使って３桁の言語コードを入力する。
③ OK アイコンを選び ENTER キーを押す。
（「DVD メニュー言語表」参照 →54）

● PLAY キーを押すと通常再生に戻ります。

DVD サブタイトル言語を選ぶ

❶ セットアップメニュー画面で、カーソル上下（▲/▼）キーを押して、Subtitle（サブタイトル）を選び、ENTER（エンター）キーを押す。

本体　リモコン

（サブタイトルメニュー画面）

❷ カーソル上下（▲/▼）キーを押してサブタイトル（字幕）言語を選び、ENTER キーを押す。

本体　リモコン

その他の言語を選ぶとき

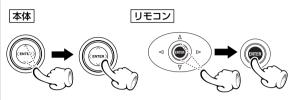
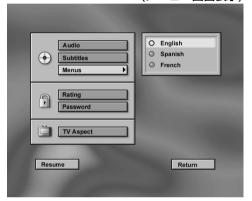
① “Other” を選び、ENTER キーを押す。

② カーソル上下（▲/▼）キーまたは数字キーを使って３桁の言語コードを入力する。
③ OK アイコンを選び ENTER キーを押す。
（「DVD メニュー言語表」参照 →54）

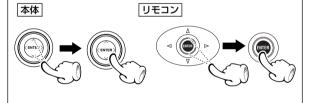
● PLAY キーを押すと通常再生に戻ります。

DVD メニュー言語を選ぶ

❶ セットアップメニュー画面で、カーソル上下（▲/▼）キーを押して、Menus(メニューズ)を選び、ENTER(エンター)キーを押す。

本体　リモコン

（メニュー画面表示）

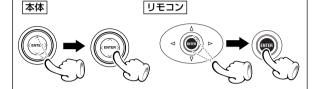
❷ カーソル上下（▲/▼）キーを押してメニュー言語を選び、ENTERキーを押す。

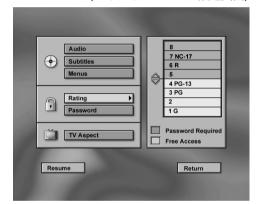
本体　リモコン

- PLAY キーを押すと通常再生に戻ります。

DVD レイティングの選択

未成年に見せたくないソフトなどの再生を制限するレベルの設定をします。

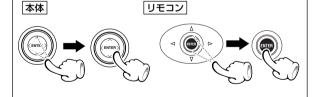
❶ セットアップメニュー画面で、カーソル上下（▲/▼）キーを押して、Rating(レイティング)を選び、ENTER(エンター)キーを押す。

本体　リモコン

パスワードが設定されている場合はパスワード入力の画面に換わります。その場合はパスワードを入力します。（→43）

（レイティングレベル設定画面）

❷ カーソル上下（▲/▼）キーを押してレイティングレベルを選び、ENTERキーを押す。

本体　リモコン

- PLAY キーを押すと通常再生に戻ります。

操作編

ディスクの再生

レイティングとパスワード（→43）が設定されているとき、保護機能に対応したディスクを再生すると、パスワードの入力画面が表示されます。正しいパスワードを入力すると再生可能になります。

ロックレベル

レベル 8: 全ての DVD が再生できます。（工場出荷状態）
レベル 7 から 2: 通常の DVD は再生できます。（成人向けにレイティング対応されたディスクは禁止されます。）
レベル 1: 子供向け DVD は再生できます。（一般向けや、成人向けは禁止されます。）

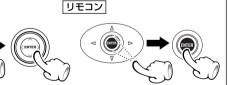
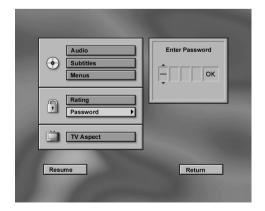
DVD パスワード

パスワードの入力

❶ セットアップメニュー画面で、カーソル上下（▲/▼）キーを押して、Password（パスワード）を選び、ENTER（エンター）キーを押す。

本体　　リモコン

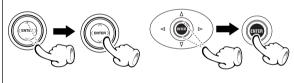
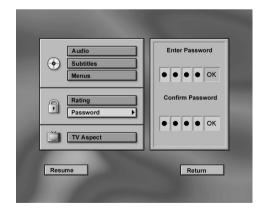
（パスワードメニュー画面）

❷ “Set（セット） Password” を選択して、ENTER キーを押す。

本体　　リモコン

❸ カーソル上下（▲/▼）キー（またはリモコンの数字キー）を押して、パスワードを入力する。

❹ ENTER キーを押してパスワード入力を終える（パスワードを確認する画面が下に表示されます）。

❺ カーソル上下（▲/▼）キー（またはリモコンの数字キー）を押して、もう一度パスワードを入力して、ENTER キーを押す。

本体

❻ OK を選んで ENTER キーを押す。

● PLAY キーを押すと通常再生に戻ります。

DVD パスワード（つづき）

パスワードを変更する

❶ セットアップメニュー画面で、カーソル上下（▲/▼）キーを押して、Password（パスワード）を選び、ENTER（エンター）キーを押す。

本体　リモコン

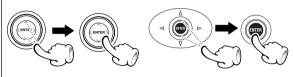
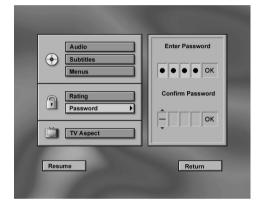
（パスワードメニュー画面）

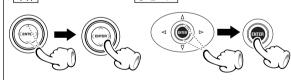
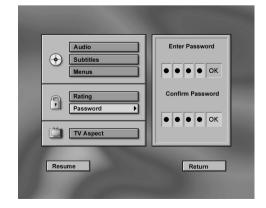
❷ カーソル上下（▲/▼）キー（またはリモコンの数字キー）を押して、パスワードを入力する。
OK を選択して ENTER キーを押す。

本体　リモコン

❸ カーソル上下（▲/▼）キーを押して、Change Password（チェンジ パスワード）を選び、ENTER キーを押す。

❹ カーソル上下（▲/▼）キー（またはリモコンの数字キー）を押して、パスワードを入力する。

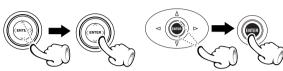
本体　リモコン

❺ ENTER キーを押してパスワード入力を終える（パスワードを確認する画面が下に表示されます）。

❻ カーソル上下（▲/▼）キー（またはリモコンの数字キー）を押して、もう一度パスワードを入力して、ENTER キーを押す。

本体　リモコン

❼ OK を選んで ENTER キーを押す。

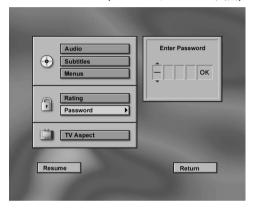
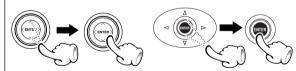
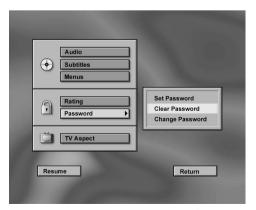
● PLAY キーを押すと通常再生に戻ります。

DVD パスワード（つづき）

パスワードを削除する

❶ セットアップメニュー画面で、カーソル上下（▲/▼）キーを押して、Password を選び、ENTER キーを押す。

(パスワードメニュー画面)

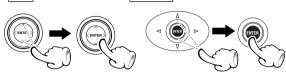
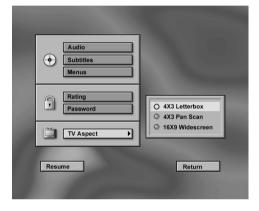
❷ カーソル上下（▲/▼）キー（またはリモコンの数字キー）を押して、パスワードを入力する。
OK を選択して ENTER キーを押す。

本体

❸ カーソル上下（▲/▼）キーを押して、Clear Password を選び、ENTER キーを押す。

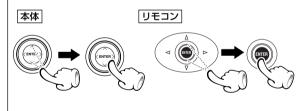
● PLAY キーを押すと通常再生に戻ります。

DVD TVアスペクト

❶ セットアップメニュー画面で、カーソル上下（▲/▼）キーを押して、TV Aspect を選び、ENTER キーを押す。

本体

(TV アスペクトメニュー表示)

❷ カーソル上下（▲/▼）キーを押して、テレビ縦横比を選択して ENTER キーを押す。

● PLAY キーを押すと通常再生に戻ります。

操作編

LISTEN モードとは

本機は、さまざまなプログラムソースに対応した、サラウンドモードを備えており、ホームシアターとしてお楽しみ頂けます。サラウンドモードはそれぞれマルチチャンネルに対応していますが、方式によって内容が異なります。

- **Dolby Digital**：ドルビーデジタルは、映画館のデジタルサラウンドサウンド技術に基づいたエンコード／デコード処理を利用しています。5つのメイン チャンネルはフル周波数の独立したチャンネルであり、映画のようにリスナーを完全に包み込むような奥行きのあるサウンドを再生します。
  Dolby Digital は Dolby Pro Logic と比較するとより明瞭で大きなサラウンド環境、そしてよりリアルなチャンネル間でのサウンド移動を実現しています。
- **Dolby Pro Logic / Dolby Pro Logic II**：Dolby Pro Logic（ドルビープロロジック）は、Dolby Surround エンコードされたソース（Dolby Surround ロゴの付けられたビデオテープやレーザーディスクソフトなど）から映画館のようなサラウンドサウンドを再生するための再生方法です。フロント部全体での優れたサウンドの移動と、映画館に居るようなサラウンドの雰囲気を再生することができます。
  また Dolby Pro Logic II は Dolby Pro Logic をさらに進化させた新しいデコード技術です。2チャンネルの Dolby Surround プログラムソースからサラウンドチャンネルを左右独立チャンネルとした 5.1 チャンネルで再生することができます。Dolby Pro Logic II は MOVIE モードと MUSIC モードを持ち、さらに MUSIC モードは Panorama mode、Dimension、Center Width の３つのパラメーターをそれぞれ調整することができます。
- **DTS**：DTS は、5つのフル周波数チャンネルで映画館のような効果を作りだします。ある場所から他の場所にズーム移動したり、またはリスナーを完全に取り囲むサウンドが再生できます。**DTS** は、**Dolby Digital** と同様、**Dolby Pro Logic** よりもはるかに改善された明瞭度とサラウンドやサウンド移動性を備えています。このモードは CD、LD、DVD ソフトで利用できます。**DTS** は完全に対応している CD、LD または DVD プレーヤーでのみ再生できます。
- **DSP**：DSP（Digital Signal Processor、デジタル信号処理）は、あらかじめ設定された、5つの会場の雰囲気を再現してライブ会場の雰囲気を楽しむことができる機能です(ドルビーデジタル、DTS を除く)。ARENA（アリーナ）、JAZZ CLUB（ジャズクラブ）、CATHEDRAL（カテドラル）、THEATER（シアター）、STADIUM（スタジアム）または DISCO（ディスコ）のうちどれかを選択することができます。
- **SRS CS II (Cricle Sound II):** Circle Surround II™ は以前の Circle Surround（CS-5.1）が改善されたもので、モノラル、ステレオまたはドルビーサラウンド方式のオーディオとビデオソースをパワフルなマルチチャンネルサラウンドでお楽しみいただけます。この CS II で、音楽 CD や MD そして、ラジオ放送までフルサラウンドで楽しむことができます。SRS Circle Surround II を通して、新しいタイプのサラウンド体験が発見できるでしょう。
  このCSシステムはマルチチャンネルのものに必要とされるスペースを大幅に減らしてくれます。このシステムはリスナーをミュージックパフォーマンスの“中”にいるような環境をつくりだし、hi-fi オーディオや、従来のサラウンド方式のビデオを劇的に改善します。さらに、この CS IIデコーダには、特許を取得したSRS Dialog Clarity Enhancement™ と TruBass™ テクノロジーが搭載されています。
  ホームシアターの場合、映画の中の会話がわかりにくくなる事がありますが、SRS Dialog Clarity が会話をクリアに改善し、またこれは、ドルビーデジタルや DTS ソースにも効果があります。TruBass は、サブウーハーのないスピーカーシステム環境でも、豊かで、奥ゆきのあるバスサウンドを作り出します。
- **Stereo:** ステレオ方式は、左右のスピーカーから通常のステレオサウンドを再生します。

Dolby Pro Logic II: Music（ドルビープロロジック II ミュージック）モードについて

Panorama mode ： フロントステレオのイメージをサラウンドスピーカーに広げて、包み込むようなサウンド環境を作ります。（パノラマモードを切り換えるには、ドルビープロロジックモードにして、SOUND キーを押します。 PANO R OFF または ON が表示されますので、TRIM (▲/▼) キーを押して ON または OFF を選択します。

Dimension ： 前後の音量バランスをフロント（前方）2ステップ、リアー（後方）2ステップの範囲で調整できます。サラウンド効果が強すぎると感じるときはフロント側に調整します。サラウンド効果が少ないと感じるときはバック側に調整します（ディメンジョンを切り換えるには、ドルビープロロジックモードにして、SOUND キーを２回押します。 DIMEN 0（または F または R と数値）が表示されますので、TRIM (▲/▼) キーを押して F-2、F-3、R-2 または R-3 を選びます。）

Center Width ： センターチャンネルの信号をフロントの L/R チャンネルに振り分けることができます。
0～7までの8段階でセンターチャンネルの信号を徐々にフロントチャンネルに振り分ける調整ができます。センターイメージが強すぎると感じるときなどに調整します。（センターウイズを切り換えるには、ドルビープロロジックモードにして、SOUND キーを３回押します。 C WIDTH 3 （または別の値）が表示されますので、TRIM (▲/▼) キーを押して 0 ～ 7 を選びます。）

L C R / LFE ⊂⊃ SW / LS S RS

入力 / 出力状態表示は DOLBY DIGITAL と DTS のときは、入力状態表示に、その他のときは出力状態表示になります。

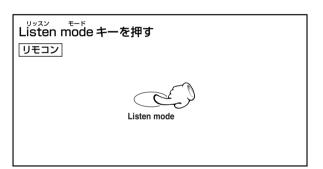
LISTEN モードを手動で切り換えるには

本機で再生するディスクの内容によって、LISTEN MODE（Listen mode キーで選択）は下の表のように切り換えられます。

音源 / LISTEN モード	ディスク				入力	
	DOLBY DIGITAL (5.1ch)	DOLBY DIGITAL (2ch)	DTS	VCD/CD (PCM, MP3)	*SAT/CABLE /FRONT デジタル コアキシャル/光	SAT/CABLE /VCR/FRONT アナログ
DOLBY DIGITAL	○	○			○	
DTS			○		○	
DOLBY PRO LOGIC II		○		○	○	○
DOLBY PRO LOGIC		○		○	○	○
CS II MUSIC CS II CINEMA CS II MONO				○	○	○
DSP ARENA JAZZ CLUB THEATER STADIUM DISCO				○	○	○
STEREO	○	○	○	○	○	○

選択されている LISTEN モード表示が点灯します。

DTS　DOLBY DIGITAL　PRO LOGIC II　DSP　CS II

*SAT / CABLE / FRONT デジタル入力で選べるリッスンモードは入力ソース（音源）によって変わります。

キーを押すごとに次のように切り換わります。

（PCM ソースのとき）
① DOLBY PL II MOVIE
② DOLBY PL II MUSIC
③ DOLBY PRO LOGIC
④ CS II MUSIC
⑤ CS II CINEMA
⑥ CS II MONO
⑦ ARENA
⑧ JAZZ CLUB
⑨ THEATER
⑩ STADIUM
⑪ DISCO
⑫ STEREO

（DTS ソースのとき）
① DTS
② DTS STEREO

（DOLBY DIGITAL ソースのとき）
① DOLBY DIGITAL
② STEREO

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。DOLBY、PRO LOGIC 及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

「DTS」及び「DTS Digital Surround」はデジタルシアターシステムズの商標です。

サウンド・リトリーバル・システムはＳＲＳ・ラブズ・インコーポレーテッドからの実施権に基づき製造されています。SOUND RETRIEVAL SYSTEM および SRS(●) は SRS・ラブズ・インコーポレーテッドの商標です。この製品の購入はサウンド・リトリーバル・システムによる録音物を販売する権利を譲渡するものではありません。

Circle Surround II と (●)® 記号は SRS Labs, Inc. の商標です。Circle Surround II 技術は SRS Labs, Inc. からのライセンスに基づき製品化されています。

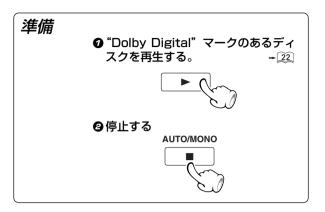
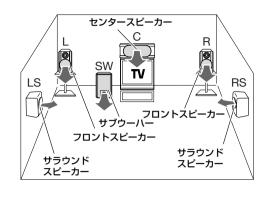
DVR-6100 (J)

スピーカーの配置

最適なサラウンドサウンドで楽しむには、スピーカーの配置が重要なポイントになります。
下図を参考にベストな配置を探してください。

準備

❶ "Dolby Digital" マークのあるディスクを再生する。 → 22

❷ 停止する

本機は標準的な使い方でもっとも良好な音量バランスになるようにあらかじめ設定されています。

スピーカーレベルの初期設定値

左フロントチャンネル (Lch)(L)	: 0dB
センターチャンネル (Cch)(C)	: 0dB
右フロントチャンネル (Rch)(R)	: 0dB
右サラウンドチャンネル (RSch)(RS)	: 0dB
左サラウンドチャンネル(LSch)(LS)	: 0dB
サブウーハー(SW)	: 0dB

次のようにして、視聴環境に合わせた設定ができます。

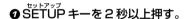
スピーカーレベル設定

❶ SETUP(セットアップ) キーを 2 秒以上押す。

テストトーンが左フロントスピーカーから聴こえます。VOLUME CONTROLツマミで音量を設定して、後は設定が終わるまでそのままにします。

"L" が点滅

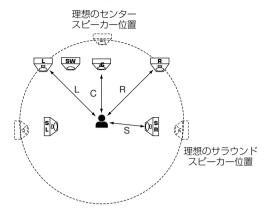
❷ TRIM(トリム) (▲/▼)キーで、スピーカーレベルを調整します。

スピーカーが約 2 秒ごとに下のように切り換わります。

サブウーハー(SW) 以外のスピーカーの音量が等しく聞こえるように、TRIM (▲/▼) キーで調整します。1 表示が点滅している間、そのスピーカーの調整ができます。
レベルは -10 dB から +10 dB まで調整できます。

- 全てのスピーカーの設定が終わったら、ディレイタイム（遅延時間）の調整をします。（→ 49）。
- 作業を終了するときは ENTER(エンター) キーを押します。

サブウーハー(SW)は再生帯域が通常と異なるため、テストトーンでは調整できません。サブウーハーは音楽信号を聴いて調整してください。（→ 50）

DVR-6100 (J)

リスニングポジション（視聴位置）は全てのスピーカーから等距離の位置が理想です。
センタースピーカーとサラウンドスピーカーに関して、ディレイタイム（遅延時間）の設定を行うことによって、仮想的に理想の配置を実現することができます。（センタースピーカーとサラウンドスピーカーは下図の点線の中にレイアウトすることができます。）

ディレイタイムの設定のしかた

ディレイタイムは、スピーカーからリスニングポジションまでの距離に換算してセットします。

左右のフロントスピーカーは 12 m（40 フィート）から 0.9 m（3 フィート）まで設定できます。
センタースピーカーとサラウンドスピーカーの設定はフロントスピーカーの設定によって変わります。フロントスピーカーより、遠い設定はできません。

ディレイタイム設定

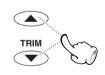
この操作は、48ページのスピーカーレベル設定に続けて操作します。

❶ SETUP（セットアップ）キーを押す。

約 5 秒間操作をしないと元の表示に戻ります。

❷ TRIM（トリム）(▲/▼)キーを押して、リスニングポジションからフロントスピーカーまでの距離を設定します。

❸ SETUP キーを押します。

SETUP キーを押すとセンタースピーカーの設定に移ります。

❹ TRIM（トリム）(▲/▼)キーを押して、リスニングポジションからセンタースピーカーまでの距離を設定します。

同様にステップ ❸ と ❹ を繰り返し、サラウンドスピーカーの設定をします。

DVR-6100 (J)

音楽を聴いて、レベル設定をする

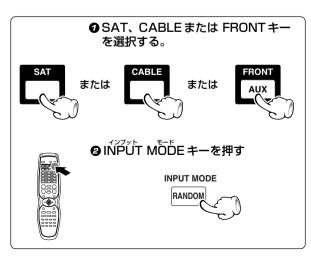
音楽を聴いて、サブウーハーや他のスピーカーのレベル設定をすることができます。

FRONT、CENTER、 REAR、および SW キーを押すことによりそれぞれのスピーカーのレベル設定をすることができます。

FRONT: フロントスピーカー
キーを押すごとに､スピーカーが切り換わります。
① L ch : 左スピーカー
② R ch : 右スピーカー
CENTER: センタースピーカー
REAR: リアー（サラウンド）スピーカー
キーを押すごとに､スピーカーが切り換わります。
① LS ch : 左サラウンドスピーカー
② RS ch : 右サラウンドスピーカー
SW: サブウーハー

スピーカーレベルは10 dB から +10 dBまで変えられます。

入力モードを変えるには

SAT/CABLE と FRONT 入力では入力のモードを切り換えて使うことができます。高音質で聴くにはお持ちの機器のデジタル出力端子にコアキシャル、または光ケーブルを接続し、次のように入力モードを切り換えます。

映像は映っても音声がでないときは、デジタル音声が記録されていない場合があります。この場合は、入力モードを ANALOG に切り換えてください。

- AUTO 入力モードは入力が他の入力から変わったときのみ一度働きます。AUTO入力モード時に、デジタル音声信号がなくなった場合、自動的にはANALOG入力モードに切り換わりません。この場合はリモコンで、ANALOG入力モードに切り換えてください。

キーを押すごとに入力モードが切り換わります。

SAT/CABLE 入力
① AUTO
② COAXIAL
③ ANALOG

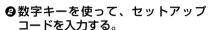
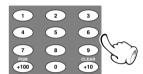
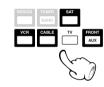
FRONT 入力
① AUTO
② OPTICAL
③ ANALOG

使用するAV機器のセットアップコードを登録する

AV 機器は VCR、SAT（サテライトチューナー）, TV（テレビ）, および CABLE（ケーブルチューナー）に登録できます。

❶ SOURCE（ソース）（⏻）キーを押したままにする。(SOURCE (⏻) キーは手順❹まで押し続けてください。)

SOURCE

❷ 数字キーを使って、セットアップコードを入力する。

❸ デバイスキー（下図の濃い色のキー）を押して、セットアップコードを確定する。

❹ SOURCE（⏻）キーをはなす。

❺ SOURCE (⏻) キーや CH +/- キーなどを押して、コードのテストをする。

- コードが正しくなかった場合や、認識されなかった場合、そのキーの本来のセッティングが優先されます。
- VCR や CABLE、SAT のプリセットコードを FRONT AUX 機器として割りあてることもできます。

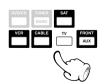
操作編

他の機器を操作するには

❶ 操作したい機器のキーを押す。

❷ SOURCE (⏻) キーを押して、機器の電源を入れる。

❸ 機器の操作用キーを押す。

(接続された機器で使用できるキー → 53)

セットアップコード表

TV（テレビ）

ブランド	セットアップコード
AIWA	100 101
AKAI	102 103
AUDIO SONIC	104
BLAUPUNKT	105
BRIONVEGA	106 107
COLTINA	108 109 110
CROWN	111 112
DAEWOO	113 114
DUAL	115
FENNER	116 117
FERGUSON	118 119
FUNAI	120 121 122
FUJITSU GENERAL	123 124 125
GOODMANS	127
GRUNDIG	128 129
HITACHI	130 131
HYPER	132
INNO-HIT	133
IRRADIO	102
JVC	134 135 136 137
KENDO	138
LOEWE	139 140
LUXOR	141
MARK	142
MATSUI	143 144 145 146
MITSUBISHI	147 148 149 150
MIVAR	151 152
NEC	153 154
NOKIA	155 156 157 158
NOKIA OCEANIC	158
NORDMENDE	159 160
OKANO	133
ORION	161 162 163
PANASONIC	126 164 165 166 167
PHILIPS	168 133
PIONEER	169 170
SABA	159 160 171
SAMSUNG	172 173 174 175 176
SANYO	177 178 179 180
SCHNEIDER	102
SELECO	181 182
SHARP	183 184
SONY	185 186 187 188 189 190
TELEFUNKEN	171 191 192
THOMSON	193
TOSHIBA	194 195
UNIVERSUM	196

ビデオ

ブランド	セットアップコード
AIWA	400 401 402
AKAI	403 404
BAIRD	405
BLAUPUNKT	406
CGM	407 408 409
COLTINA	410
DAEWOO	411
DIGTAL	412
FENER	413
FUJITSU GENERAL	414
FUNAI	415
GOLDSTAR	416
GOODMANS	417
GRUNDIG	418
HITACHI	419 420 421
JVC	422 423 424 425 426 427 428
LOEWE	429 430
MITSUBISHI	433 434 435 436 437 438
NEC	439 440 441
NOKIA	409
NORDMENDE	442 443
OKANO	444 445
ORION	446
PANASONIC	431 432 447 448 449 450 451
PHILIPS	452 453
PHONOLA	407
PIONEER	454
SABA	455
SAMSUNG	456 457 458 459
SANYO	460 461 462 488
SCOTT	463
SELECO	464
SHARP	465 466 467
SIEMENS	468
SONY	469 470 471 472 473 474 475 476 477 478 479 480 481 482
TELEFUNKEN	483 484
TOSHIBA	485 486
W.W.HOUSE	416
WATSON	487

ケーブルまたはサテライト

ブランド	セットアップコード
AMSTRAD	600 601 602 603 632
GRUNDIG	604 605
PHILIPS	606 624
PACE	607 626
ITT	608
SKYMASTER	609 637
KATHREIN	610 611 635
JVC/BT	612
JVC	613
PANASONIC	614
JERROLD	615
VIDEOWAY	616 617
ECHOSTAR	618 619 620 622
CANAL+	621
TPS/SAGEM	623
D-BOX	625
NOKIA	627 634
GALAXIS	628
FORCE	629
SELECTOR	630
TRIAX	631
MASCOM	633
THOMSON	636
HIRSCHMANN	638

1. セットアップコードがないブランドもあります。
2. 上記のブランドのセットアップコードでは操作できない機器や機能があることがあります。

接続された機器で使用できるキー

図の中で、濃い色にキーが使用できます。

VCR（ビデオ）

操作キーは表示と異なる場合があります。

⏮ ⏭ : VCR REW/FF
► : VCR PLAY
● : VCR REC
■ : VCR STOP
◄◄ ►► : TV VOL. DOWN/UP

TV（テレビ）

操作キーは表示と異なる場合があります。

SET : ENTER
⏮ ⏭ : VCR REW/FF
► : VCR PLAY
● : VCR REC
■ : VCR STOP
◄◄ ►► : TV VOL. DOWN/UP

CABLE（ケーブルチューナー）

操作キーは表示と異なる場合があります。

SET : ENTER

SAT（サテライトチューナー）

操作キーは表示と異なる場合があります。

SET : ENTER

VCR やCABLE、SAT のプリセットコードをFRONT AUX 機器として割りあてることもできます。

DVR-6100 (J)

DVD メニュー言語表

コード番号	言語
6565	アファル
6566	アブハジア
6570	アフリカーン
6577	アムハラ
6582	アラビア
6583	アッサム
6588	アイラマ
6590	アゼルバイジャン
6665	バシキール
6669	ベロルシア
6671	ブルガリア
6672	ビハール
6678	ベンガル（バングラ）
6679	チベット
6682	ブルターニュ
6765	カタロニア
6779	コルシカ
6783	チェコ
6789	ウェールズ
6865	デンマーク
6869	ドイツ
6890	ブータン
6976	ギリチャ
6978	英語
6979	エスペラント
6983	スペイン
6984	エストニア
6985	バスク
7065	ペルシャ
7073	フィンランド
7074	フィジー
7079	フェロー
7082	フランス
7089	フリジア
7165	アイルランド
7168	スコットランド
7176	ガリチア
7178	グアラニー
7185	グジャラト
7265	ハウサ
7273	ヒンディー

コード番号	言語
7282	クロアチア
7285	ハンガリー
7289	アルメニア
7365	インターリングア
7378	インドネシア
7383	アイスランド
7384	イタリア
7387	ヘブライ
7465	日本語
7473	イディッシュ
7487	ジャワ
7565	グルジア
7575	カザフ
7576	グリーンランド
7577	カンボジア
7578	カンナダ
7579	韓国語
7583	カシミール
7585	クルド
7589	キルギス
7665	ラテン
7678	リンガラ
7679	ラオ
7684	リトアニア
7686	ラトビア（レット）
7771	マダガスカル
7773	マオリ
7775	マケドニア
7776	マラヤーラム
7778	モンゴル
7779	モルダビア
7782	マラッタ
7783	マライ（マレー）
7784	マルタ
7789	ビルマ
7865	ナウル
7869	ネパール
7876	オランダ
7879	ノルウェー
7982	オーリャ
8065	パンジャブ

コード番号	言語
8076	ポーランド
8083	パシュト
8084	ポルトガル
8185	ケチュア
8277	レトロマンス
8279	ルーマニア
8285	ロシア
8365	サンスクリット
8368	シンド
8372	セルボクロアチア
8373	シンハラ
8375	スロバキア
8376	スロベニア
8377	サモア
8378	ショナ
8379	ソマリ
8381	アルバニア
8382	セルビア
8385	スンダ
8386	スウェーデン
8387	スワヒリ
8465	タミル
8469	テルグ
8471	タジク
8472	タイ
8473	ティグリニア
8475	トルクメン
8476	タガログ
8479	トンガ
8482	トルコ
8484	タタール
8487	トウイ
8575	ウクライナ
8582	ウルドゥー
8590	ウズベグ
8673	ベトナム
8679	ヴォラピュック
8779	ウォロフ
8872	コーサ
8979	ヨルバ
9072	中国語
9085	ズールー

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に、症状に合わせて一度チェックしてみてください。

マイコンをリセットするには

電源がオンの時の電源コードの抜き差しや、外部からの要因により、マイコンが誤動作（操作できない、表示部の誤表示など）することがあります。この場合、次の手順をお試しください。
マイコンがリセットされ、通常の状態に戻ります。

- **リセットにより、DVD の設定以外の各種の記憶内容は消滅し、工場出荷状態となります。ご了承ください。**

POWER(パワー)スイッチをON(オン)（スタンバイ状態)にします。
►►I キー、I◄◄キーと STOP(ストップ)キーを順番に押します。

レシーバー（ラジオ）、スピーカー部

症　状	原　因	処　置
音がでない。	● スピーカーコードが接続されていない。 ● MUTE(消音)機能が働いている。 ● ヘッドホンプラグが挿入されている。	●「接続のしかた」を参照して正しく接続する。 → 11 ● リモコンのMUTE キーを押し解除する。 → 17 ● ヘッドホンプラグを抜く。 → 17
右または左のスピーカーから音がでない。	● スピーカーコードが接続されていない。	●「接続のしかた」を参照して正しく接続する。 → 11
放送を受信できない。	● アンテナが接続されていない。 ● 適切な放送バンドが選ばれていない。 ● 放送局のある周波数を選んでいない。	● アンテナを接続する。 → 12 ● バンドを選ぶ。 → 20 ● 放送局のある周波数を選択する。 → 20
雑音が混信する。	● 車のイグニッションノイズを拾っている。 ● 電子機器の影響を受けている。 ● テレビが本機の近くに置かれている。	● 屋外アンテナを、道路から離して設置する。 → 12 ● 疑わしい電子機器の電源を切る。 ● テレビと本機の間を離しておく。
プリセットした放送局が、P.CALLキーで呼び出せない。	● プリセットした周波数の放送局が、受信できない放送局である。 ● 電源コードを長い期間抜いてあったため、プリセットメモリーが消えた。	● 受信できる周波数をプリセットする。 → 21 ● もう一度プリセットし直す。 → 21
スタンバイインジケーターが速く点滅している。	● 過大音量で、本機の内部温度保護回路が働いた。	● POWERスイッチを押して、電源をオフにし、15分ほど放置して、冷却してから電源をオンする。 この操作を繰り返しても正常復帰しない場合には販売店、またはケンウッドサービスセンターにサービスを依頼する。
サラウンドスピーカーから音がでない。	● リッスンモードがステレオになっている。	● Listen(リッスン) mode(モード)キーでリッスンモードを切り換える。 → 47

リモコン部

症　状	原　因	処　置
リモコンで操作できない。	● 電池切れ。 ● 操作する位置が遠すぎる、角度がずれている。または障害物がある。 ● ディスクがセットされていない。	● 新しい電池に入れ換える。 →16 ● 操作範囲内で操作する。 →16 ● ディスクをセットする。 →22
	● 本体キーで操作をした。 ● 動作をしないキーを押している。	● 入力キーか、ディバイスキーを一度押してから操作をする。 →17

DVD /CD プレーヤー部

症　状	原　因	処　置
▶/II キーを押しても、再生が始まらない。	● ディスクが入っていない。 ● 信号が記録されていない面を再生している。	● ディスクを入れて、▶/IIキーを押す。 →22 ● ディスクを裏返して正しく入れ直す。 →22
再生が始まっても、映像／音声が出ない。	● TVの電源が入っていない。 ● 接続コード類が正しく接続されていない。	● ＴＶの電源を入れる。 ● 正しく接続し直す。 →13
再生時、早送りで、画像が乱れる。	● 早送り、早戻し時は、多少画面が乱れます。	● 故障ではありません。
音が出ない。	● 音量設定が適量に設定されていない。 ● 特殊な再生モードになっている。	● 適正な音量に調節します。 →17 ● ▶/IIキーを押して通常モードにします。 →22
きれいに映らない、画質／音質がよくない。	● 雑音源と思われる他の機器が、そばにある。 ● ディスクが汚れている。 ● ディスクに傷がついている。 ● 光学レンズが結露している。	● 本機と、雑音源と思われる他の機器をできるだけ離す。 ● "ディスク取扱上のご注意"を参照し、汚れをふきとる。 →8 ● 新しいディスクと交換する。 ● "露付きにご注意"を参照し、露を蒸発させる。 →8
再生が始まるまでに時間がかかる。	● ディスクの種類やサイズの検出、モーターの回転を安定させるためで、故障ではありません。	● ディスクによって異なりますが、約１０～20秒程度待ちます。
画面の上下が欠ける。	● 再生したいディスクのビデオフォーマットと接続したテレビのビデオフォーマットの関係が合っていない。	● "ビデオフォーマットについて"を参照し、正しいフォーマットのディスクと、テレビを使用します。 →10
VCD のメニュー再生ができない。	● プレイバック·コントロール付き以外のVCDを再生しようとしている。	● プレイバック·コントロール付きのＶＣＤ以外は、メニュー再生できません。 →33
字幕がでない。	● 字幕の入っていないＤＶＤディスクを再生しようとしている。 ● 字幕モードがオフになっている。	● 字幕の入っていないＤＶＤディスクは字幕が表示されません。 ● S.TITLE（サブタイトル）キーを押して、字幕モードをオンにする。 →26
音声（または字幕）言語が切り換えられない。	● 複数の音声（または字幕）言語の入っていないＤＶＤディスクを再生しようとしている。	● 複数の音声（または字幕）言語の入っていないＤＶＤディスクは、言語を切り換えられません。

DVD /CD プレーヤー部（続き）

症　状	原　因	処　置
アングルを切り換えて見ることができない。	● 複数のアングルが記録されていないＤＶＤディスクを再生しようとしている。 ● ＤＶＤディスクの複数のアングルが記録されていない部分でアングルを切り換えようとしている。	● 複数のアングルが記録されていないＤＶＤディスクは、アングルを切り換えられません。 ● 複数のアングルは、特定の部分のみ記録されている場合があります。 → 27
リジョンコードが ALL と表示されていても再生できない。	● ＡＬＬ と表示されていても全てのリジョンコードで再生できないディスクがあります。	● 別のディスクを再生してください。
タイトルを選んでも、再生が始まらない。	● レイティングが設定されている。	● レイティングの設定を確認してください。 → 42
レイティングが変更できない。	● 設定したパスワードを忘れた。	● 以下の手順でパスワードをリセットしてください。 ディスクを取り出し、再生キー（►/❚❚ ）を押す。“NO DISC” 表示がでたら、リモコンのDVD CDキー、カーソルの► キー、◄キー、▼キー、▲キーを順に押し、本体の❙◄◄キーを押す。 ＰＯＷＥＲスイッチをＯＦＦにしたあと、POWER スイッチをもう一度ONにする。
初期設定で選んだ音声言語、字幕言語にならない。	● 再生しようとしているＤＶＤディスクに選んだ音声言語や字幕言語が入っていない。	● 選んだ音声言語や字幕言語が入っているDVDディスクに交換する。 → 41
キー操作をしたときにテレビ画面にメッセージがでない。	● テレビ画面のメッセージ表示機能（オンスクリーン表示）がオフになっている。	● テレビ画面の表示機能（オンスクリーン表示）をオンにする → 24
希望の言語でメニュー画面のメッセージがでない。	● ディスクメニュー言語機能（ＭＥＮＵ）でメニューが設定されていない。	● ディスクメニュー言語機能（ＭＥＮＵ）を設定する。 → 42

禁止アイコン

症　状	原　因	処　置
🚫 禁止アイコンが表示され、リモコンで操作できない。	● ソフト制作者が意図して再生制限状態にしてある。	● 操作できませんので、他の操作をしてください。 → 10

本体

[アンプ部]

実効出力(ステレオ時)
1 kHz, ひずみ率 10 %, 6 Ω .... 40 W + 40 W
実効出力(サラウンド時)
フロント(1 kHz, ひずみ率 10 %, 6 Ω) .... 40 W + 40 W
センター(1 kHz, ひずみ率 10 %, 6 Ω) .... 40 W
サブウーハー(100 Hz, ひずみ率 10 %, 6 Ω) .... 80 W
サラウンド(1 kHz, ひずみ率 10 %, 6 Ω) .... 40 W + 40 W
入力感度/インピーダンス
VCR / SAT / CABLE / FRONT .... 600 mV / 68 kΩ
出力レベル/インピーダンス
VCR .... 600 mV / 470 Ω

[チューナー(ラジオ)部]

FM チューナー部
周波数範囲 .... 76 MHz ～ 90 MHz
AM チューナー部
周波数範囲 ....531 kHz ～ 1,629 kHz

[DVD/CD/VCD プレーヤー部]

レーザー .... 半導体レーザー
ワウフラッター .... 測定限界以下
ビデオ出力方式 .... NTSC
ビデオ出力
コンポジットビデオ出力/インピーダンス .... 1 Vp-p (75 Ω)
S-ビデオ出力
Y 出力レベル/インピーダンス .... 1 Vp-p (75 Ω)
C 出力レベル/インピーダンス .... 0.286 Vp-p (75 Ω)
コンポーネントビデオ出力/インピーダンス
Y 出力レベル/インピーダンス .... 1 Vp-p (75 Ω)
C/b 出力レベル/インピーダンス .... 0.7 Vp-p (75 Ω)
C/r 出力レベル/インピーダンス .... 0.7 Vp-p (75 Ω)
圧縮方式..MPEG1/MPEG2

[デジタルオーディオ部]

サンプリング周波数 .... 32 kHz, 44.1 kHz, 48 kHz
入力レベル/インピーダンス/波長
光.................................... -15 dBm ～ 21 dBm (660 nm ± 30 nm)
コアキシャル .... 0.6 Vp-p (75 Ω)
デジタル出力 .... -15 dBm ～ 21 dBm
(波長 660 nm)

[一般]
定格消費電力 .... 130 W
最大外形寸法 .... W:440 mm
H: 93 mm
D:410 mm
質量(重量) .... 8.5 kg

スピーカー部(KSW-6100)(フロント/センター/サラウンド)

型式 .... 密閉型 (防磁タイプ)
スピーカー構成
フルレンジ .... 50 mm、コーン形
インピーダンス .... 6 Ω
最大入力 .... 40 W
最大寸法 .... W: 70 mm
H: 125 mm
D: 110 mm
質量(重量) .... 0.48 kg (フロント/センタースピーカー) (1 台)
0.36 kg (サラウンドスピーカー) (1 台)

スピーカー部(KSW-6100)(サブウーハー)

型式 .... バスレフ方式
スピーカー構成
ウーハー .... 160 mm、コーン形
インピーダンス .... 6 Ω
最大入力 .... 80 W
最大寸法 .... W: 175 mm
H: 310 mm
D: 295 mm
質量(重量) .... 4.9 kg

メモ
1. これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
2. 極端に寒い（摂氏 0 度以下の）場所では、十分に性能を発揮できないことがあります。

ケンウッドサービス網

製品に対するお問合せ、アフターサービスについてのお申し込みは、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお申しつけください。

北海道			
札幌サービスセンター	〒007-0834	札幌市東区北34条東14丁目1-23	電話(011) 743-7740
帯広サービスステーション	〒080-2472	帯広市西22条南3-32-6	電話(0155) 33-0611
旭川サービスステーション	〒070-0036	旭川市6条通14丁目63-5	電話(0166) 24-3810
東北			
仙台サービスセンター	〒984-0042	仙台市若林区大和町5-32-12 (サンライズ大和)	電話(022) 284-1171
盛岡サービスセンター	〒020-0124	盛岡市厨川4-5-11	電話(019) 646-2311
青森サービスステーション	〒030-0821	青森市勝田1-19-4	電話(017) 735-3431
八戸サービススポット	〒031-0081	八戸市柏崎6-7-4	電話(0178) 45-8846
秋田サービスステーション	〒010-0877	秋田市千秋矢留町9-14	電話(018) 836-0131
郡山サービスステーション	〒963-0107	郡山市安積3-257	電話(024) 945-8279
山形サービスステーション	〒990-0034	山形市東原町3-9-8	電話(023) 623-7441
関東・甲信越			
高崎サービスセンター	〒370-0073	高崎市緑町2-9-1	電話(027) 362-6211
新潟サービスステーション	〒950-0923	新潟市姥ヶ山1-5-37	電話(025) 287-7736
松本サービスステーション	〒390-0832	松本市南松本2-7-30(昭和ビル2F)	電話(0263) 26-7331
さいたまサービスセンター	〒330-0033	さいたま市本郷町258-1	電話(048) 664-3611
宇都宮サービスステーション	〒321-0962	宇都宮市今泉町1639-3	電話(028) 638-3161
水戸サービスステーション	〒311-4152	水戸市河和田3-2422-1	電話(029) 253-6711
千葉サービスセンター	〒261-7117	千葉市美浜区中瀬2-6 (ワールドビジネスガーデン マリブイースト17F)	電話(043) 297-2311
柏サービスステーション	〒277-0081	柏市富里1-2-1	電話(0471) 63-1441
池袋サービスカウンター	〒171-0022	豊島区南池袋3-18-43 (内山ビル1F)	電話(03) 5958-4810
東京サービスセンター	〒153-0042	目黒区青葉台3-17-9	電話(03) 3477-5411
立川サービスステーション	〒190-0012	立川市曙町1-24-11(橋本ビル1F)	電話(042) 523-2151
横浜サービスステーション	〒221-0822	横浜市神奈川区鶴屋町3-33-18 (SKビル1F)	電話(045) 314-2591
神奈川中央サービスセンター	〒228-0012	座間市広野台2-8-21	電話(046) 256-9681
中部			
名古屋サービスセンター	〒462-0861	名古屋市北区辻本通1-11	電話(052) 917-2550
静岡サービスセンター	〒420-0816	静岡市沓谷5-61-1	電話(054) 262-8700
豊橋サービスステーション	〒440-0051	豊橋市東雲町62-1(センティア広野1F)	電話(0532) 63-3280
津サービスステーション	〒514-0042	津市新町2-10-29(新町オフィスビル1F)	電話(059) 222-4360
金沢サービスセンター	〒920-0024	金沢市西念3-29-11	電話(076) 265-5045
近畿			
大阪サービスセンター	〒532-0034	大阪市淀川区野中北2-1-22	電話(06) 6394-8075
京都サービスステーション	〒612-8374	京都市伏見区治部町56-1	電話(075) 603-7750
神戸サービスカウンター	〒651-0088	神戸市中央区小野柄通5-1-5 (永原ビル1F)	電話(078) 271-3280
中国・四国			
広島サービスセンター	〒731-0137	広島市安佐南区山本1-8-17	電話(082) 832-2210
岡山サービスステーション	〒700-0953	岡山市西市308-6	電話(086) 241-8037
高松サービスセンター	〒760-0068	高松市松島町3-1	電話(087) 835-2413
松山サービスステーション	〒791-8013	松山市山越4-11-2	電話(089) 925-5760
九州			
福岡サービスセンター	〒815-0035	福岡市南区向野2-8-18	電話(092) 551-9755
北九州サービスステーション	〒802-0044	北九州市小倉北区熊本1-12-25	電話(093) 921-2771
熊本サービスステーション	〒862-0910	熊本市健軍本町29-3	電話(096) 368-4161
大分サービスステーション	〒870-0921	大分市萩原2-9-18	電話(097) 553-3207
宮崎サービスステーション	〒880-0803	宮崎市旭1-6-30(サニービル2F)	電話(0985) 26-1161
鹿児島サービスステーション	〒890-0056	鹿児島市下荒田2-20-1	電話(099) 251-6347
沖縄サービスステーション	〒901-2227	宜野湾市宇地泊89	電話(098) 898-2255
カスタマーサポートセンター			
カスタマーサポートセンター東京	〒153-0042	東京都目黒区青葉台3-17-9　FAX (03)3477-5334	電話(03) 3477-5335
カスタマーサポートセンター大阪	〒532-0034	大阪市淀川区野中北2-1-22　FAX (06)6394-8085	電話(06) 6394-8308

- ケンウッドサービス窓口　営業時間のご案内
  月曜日～金曜日(土曜、日曜祭日および当社休日を除く)　午前10時から午後6時まで
- 池袋・神戸サービスカウンター　営業時間のご案内　<持込修理取次店>
  日曜日～土曜日(木曜及び当社休日を除く)　午前10時から午後7時まで
- カスタマーサポートセンター　営業時間のご案内
  月曜日～金曜日(土曜、日曜祭日および当社休日を除く)　午前9時から午後6時まで

(各サービス窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。)

保証とアフターサービス（よくお読みください）

保証書（別途添付）

製品には保証書が（別途）添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。
電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。
（お問い合わせ先は、「ケンウッドサービス網」をご覧ください。）

補修用性能部品の保有期間

当社は、このステレオの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しております。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

シリアル番号について

システム商品の各機器にシリアル番号が付けられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。
付属の保証書で、お買い上げのシステム機器（基本システム）すべての保証修理が受けられます。

修理を依頼される時は

「故障かな？と思ったら」に従って調べていただき、なお異常がある時は、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービス窓口が修理をさせていただきます。
修理に際しましては保証書をご提示ください。

出張修理／持込修理

「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼される時は、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号（Serial No.）
- お買い上げ年月日
- 故障の症状（できるだけ具体的に）
- ご住所（ご近所の目印等も併せてお知らせください）
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

保証期間が過ぎている時は

保証期間が過ぎている時は、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み

（有料修理の場合は、次の料金をいただきます）

- 技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代：修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
- 送　料：郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。

お買上げ店名

電話（　　　　）　　　-

KENWOOD

株式会社 ケンウッド
〒150-8501　東京都渋谷区道玄坂 1-14-6

商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
　カスタマーサポートセンター東京　電話（03）3477-5335　FAX（03）3477-5334 〒153-0042 東京都目黒区青葉台 3-17-9
　カスタマーサポートセンター大阪　電話（06）6394-8085　FAX（06）6394-8308 〒532-0034 大阪市淀川区野中北 2-1-22
アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、「ケンウッドサービス網」をご参照のうえ、
最寄りのサービス窓口にご相談ください。